

令和5年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

2 経過

- (1) 令和5年4月11日 松本市小中学校教頭会で周知
小中学校へプログラム一覧配布と申込書募集開始
- (2) 令和5年5月31日 申込書提出締切
随時プログラム実施

3 実施状況（令和6年3月現在）

- (1) 実施校 17校（小学校17校）
- (2) 実施人数 2,599人
- (3) 実施事業 50事業（23種類）
- (4) 実施団体 16団体

4 報告書目次

- | | |
|-------------------------------|----------|
| (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 | 1～101頁 |
| (2) 令和5年度学習プログラム一覧 | 102～126頁 |
| (3) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 | 127頁 |
| (4) 【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ | 128～129頁 |

【表紙写真】

左：大野川小学校

「シャワークライミング」

中央：今井小学校

「身近な自然観察」

右：源池小学校

「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」





令和5年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	並柳小	41 自然体感プログラム (川の生き物探し)	NPO法人わおん	2年 (44)	7/20	1~2
2	源池小	18 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (44)	6/13	3
3	源池小	3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	5年 (46)	6/16	4
4	梓川小	11 木材の活用法 (小物づくり)	寿さと山くらぶ	5年1組 (36)	6/7, 14	5~6
5	梓川小	9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	5年 (141)	10/3, 5	7~11
6	梓川小	16 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社松本電材営業所	5年1組 (35)	11/17	12
7	中山小	9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (3)	11/7	13
8	田川小	7 大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	4, 5年 (81)	8/30	14
9	田川小	29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス	4, 5年 (79)	9/12, 14	15~17
10	梓川小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	6年 (144)	9/4	18~22
11	梓川小	21 手作りろ過器で飲み水作り (水の循環と森の役割を学ぶ)	すえなみブッシュクラフトスクール 長野	6年 (144)	11/16, 17	23~26
12	梓川小	7 大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	4年 (111)	6/21	27
13	梓川小	30 水殿ダムラフトピクニック (ダム見学付き)	合同会社リトルピークス	4年 (107)	7/10	28~32
14	梓川小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (111)	9/5	33~36
15	梓川小	スノーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (110)	2/13	37~40
16	並柳小	3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	5年 (69)	5/25, 31	41~42
17	四賀小	6 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学 (まなぶ) 会	4年 (20)	6/27	43
18	明善小	緑のカーテンで、ひょうたん人形をつくろう	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (4)	6/20 10/18, 19, 25	44~45
19	二子小	8 めかくどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり 応援団	3年 (31)	11/7	46~47
20	二子小	9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年 特別支援学級 (55)	11/1, 6	48~50
21	明善小	10 炭用石窯でピザ焼体験	NPO法人石窯スマイル研究会	特別支援学級 (7)	7/6	51
22	明善小	11 木材の活用法 (小物づくり)	寿さと山くらぶ	特別支援学級 (19)	9/25	52
23	旭町小	20 アウトドアから学ぶ防災・災害対策	すえなみブッシュクラフトスクール 長野	4年 松本盲学校児童 (56)	11/7	53~55
24	旭町小	9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	自情障学級 (22)	11/28	56
25	梓川小	38 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校ぶらす	5年1, 2組 (72)	11/6 12/15	57~59
26	源池小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (30)	8/28	60

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
27	源池小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (44)	8/28	61～62
28	源池小	36 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	3年 (34)	10/11	63～64
29	今井小	24 身近な自然観察	自然観察の会ひこばえ	1年 (31)	9/21	65～66
30	安曇小	30 水殿ダムクラフトピクニック	合同会社リトルピークス	5,6年 (4)	6/28	67
31	四賀小	9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	3年 (26)	11/14	68～69
32	源池小	4 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課	4年 (44)	9/27	70
33	源池小	26 水辺の生物の観察会 27 水辺の生き物観察から考えよう！	川の自然と文化研究所 松本ホテル学（まなぶ）会	4年1組 (22) 4年2組 (22)	8/24	71～72
34	源池小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	特別支援学級 (30)	8/28	73
35	源池小	35 石窯でピザづくりたいいけん	NPO法人石窯スマイル研究会	特別支援学級 (18)	10/20	74
36	清水小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (107)	8/30	75～76
37	開智小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (96)	7/11	77～79
38	波田小	7 大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	3年 (137)	7/18	80～81
39	波田小	上高地から流れる梓川の水利用と探検学習	合同会社リトルピークス	3年 (137)	9/29	82～86
40	波田小	41 自然体感プログラム	NPO法人わおん	6年1組 (34)	7/5	87
41	波田小	41 自然体感プログラム	NPO法人わおん	相談室 (5)	7/5	88
42	大野川小	7 大河の一滴プロジェクトスライドショー シャワークライミング	合同会社リトルピークス	3,4年 (8)	7/21	89～90
43	安曇小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3,4年 (10)	7/19	91
44	芝沢小	18 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課	4年 (64)	9/7	92
45	波田小	39 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	特別支援学級 (24)	10/24	93
46	大野川小	31 地元の山が100倍好きになる登山学 (乗鞍さんぼ)	合同会社リトルピークス	1,2年 (6)	10/27	94～95
47	安曇小	4 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課	6年 (4)	2/22	96
48	安曇小	冬の上高地～水と人々に迫る～	合同会社リトルピークス	4,5年 (5)	2/27	97～98
49	山辺小	7 大河の一滴プロジェクトスライドショー 川遊び	合同会社リトルピークス	3年3組 (33)	9/7	99
50	山辺小	26 水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所	3年3組 (33)	9/11	100～101
計	17校 (小学校17校)	23種類	16団体	2,599人		

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校 2年	参加人数	44人
担当者	赤羽 仁美・窪田 隆央	記入者	赤羽 仁美
実施日（期間）	令和5年7月20日（木）		
講師名	NPO法人わおん 山田勇氏		
実施概要	学校付近の用水路に住む生き物を採集し、観察した。		
実施状況 (授業風景)	 <p>用水路に入り、NPOの方から、生き物の探し方を実際にやってみせていただき、教えていただきました。</p>  <p>捕まえた生き物が、何かをその場で教えてもらいました。</p>  <p>用水路の安全な場所で、自由に生き物探しをしました。</p>  <p>最後に、みんなで捕まえた生き物を観察し、どのような生き物がいたか、その生き物の生息している川の汚れ具合はどうか、などを教えていただきました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな、とても喜んで、生き物探しに取り組みました。 ・思ったよりもいろいろな生き物がいてびっくりした。 ・生き物を自分で見つけてとることができて、とても楽しかった。 ・貝など、いると思わなかったのが驚いた。 ・お話を聞いたら、川にいる生き物の種類で、川の水がきれいかどうかかわかると知って、すごいと思った。 ・ほかにも、どんな生き物がいるかもっと調べたくなった。 ・ほかの川も調べてみたくなった。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども達が興味をもって、とても意欲的にいて、とてもよい活動だったと思います。講師の方のお話も、子ども達にとって興味深かったり、考えさせられたりするもので、よかったです。・今回1クラス毎、1時間ずつの活動で、人数的には取り組みやすくてよかったが、もう少し時間が長ければよかった。・活動に使用する、網やバットなど、合同庁舎から借用した。貸し借りで、本校職員が合同庁舎まで行ったが、できれば必要な道具類も講師の方が持参してくださると、こちらの負担も減ってありがたいと思った。
--	---

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校4年	参加人数	44人
担当者	浦 嘉宏	記入者	浦 嘉宏
実施日（期間）	令和5年6月13日（火）		
講師名	松本市上下水道局下水道課		
実施概要	松本市の下水道について 下水道が流れる仕組み（実験見学） トイレトペーパーとティッシュペーパーの溶け方の違い（実験）		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>松本市の下水道について 教えてもらいました</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>下水道が流れる仕組みの実験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>紙の溶け方の比較実験</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>下水道クイズ</p>  </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道のことがくわしくわかってよかった。 ・こんど浄化センターに見学に行くので、微生物のことをもっと詳しく見てきたいと思った。 ・トイレトペーパーとティッシュペーパーでこんなに溶け方が違うということがビックリした。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>浄化センターに見学に行く前に知識として下水道の仕組みを学ぶことができ、事前学習としてとてもよかった。実験なども取り入れてくださり、児童も楽しく学ぶことができた</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ環境教育</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校5年</p>	<p>参加人数</p>	<p>46人</p>
<p>担当者</p>	<p>上里 笑美・佐原 健治</p>	<p>記入者</p>	<p>佐原 健治</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年6月16日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 松場氏</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美ヶ原登山に向けての事前学習 ・登山当日のガイド 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出発の会にて山の歩き方確認</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大自然の恵みについて</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>高原の魅力のガイダンス</p> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・初めて登山をしたけど、歩き方を教えてもらったのであまり疲れなかった ・途中の植物の名前を教えてもらってうれしかった ・美ヶ原の魅力がわかった ・ただ歩いているだけだとそれで終わってしまうけど、ガイドの松場さんのお話を聞いてから登山をしたので、終わった時の満足感が高まったと思います 2 先生方の感想、要望等 <p>ガイドをしていただいたことで、職員・子どもとも登山に対する不安を全く抱えることなく実施することができたことが大変ありがたかった。ペースメーカーとしての役割だけでなく、子ども達の表情や歩き方を見て職員に指示を出していただけたので、途中諦める児童がなく、全行程を終えることができた。</p> <p>また登山途中に見られる動植物や山々の名称などを教えていただくことで、私たちが日頃気づかない自然の大切さや長野県に住む魅力、そして環境保全の意味を改めて認識することができた。</p> 		

授 業 名	木材の活用法		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年1組	参加人数	36人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和5年6月7日（水）、14日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏		
実施概要	<p>（事前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校地内にある木の種類と特徴について、現地にて講義を受ける。 <p>（当日） ①木材の種類や実についてのお話 ②実習</p>		
実施状況 （授業風景）	<p>（事前学習）</p> <p>①校地内にある『竹馬の森』で、木の種類や実の特徴について教えていただく。</p> <p>②ペン立てに使いそうな木の実や葉を集めた。</p> <p>（当日）</p> <p>①木材の種類や実についてのお話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペン立てづくりに使う木の名前や木の実の名前について、クロモジの枝などの匂いを嗅いだりしながら話していただいた。 ・事前学習の話を交えながら、今後の総合で行えそうな活動を考えていくきっかけになるように話をしていただいた。（打ち合わせ済みの内容） <p>②ペン立てづくりの実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いたい材料を箱の中から選び、ドリルを使って穴をあける。 ・テーブル班ごとに指導者が一人ずつついてくださったので、全員が体験でき怪我もなかった。 ・木の実を選ぶときに、時間をかけて選んでいる子が多かった。 ・グルーガンを使い、木の実や小枝などをつける。 ・グルーガンは低学年で使ったことがあったので、自分たちでどんどん使うことができた。 <p><作品></p>		



<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴をあけるためにドリルを使ったり、グルーガンを使ったりして作るのが難しかったけれど、講師の先生に手伝ってもらったので上手にでき楽しかった。また作りたい。 ・自分たちがいつも遊んでいる“竹馬の森”についていろいろな木や実があることを改めて知ることができたので、これから遊ぶときに意識をしながら過ごしたい。 ・学校にある木について、もっと知りたくなった。みんなで調べてみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、子どもたちが良く遊んでいる『竹馬の森』の中で、木の種類を教えていただいたので、今後の活動に興味を持つことができてよかった。 ・今回の授業を通して、学校にある木にはどんな種類があるのか、もっと木を使って何か作りたいなど、自分たちの身の回りの自然に目を向け、大切にしたり上手に利用したりしたいという気持ちを持つことができたので良かった。 ・指導者が各班についてくださったので、安全に取り組むことができるとともに、子どもたちがわからないことをすぐに聞くことができたのでありがたかった。 ・子どもたちが取り組みやすいように、たくさんの材料を用意していただき、全員が満足して終わることができた。
---------------	---

授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和5年10月5日（木）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏		
実施概要	① 木の話と年輪について ② 実習（バウムクーヘンづくり）		
実施状況 （授業風景）	<p>① 木の話と年輪について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹馬の森の木の種類について話を聞きながら、木にできている年輪のでき方について教えていただく。 ・年輪の幅によって、その時の気候がわかり自然環境を知ることができることなどを学んだ。 <p>② 実習(年輪に見立てたバウムクーヘン作り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで卵を割ったり、粉類を入れてかき混ぜたりした。 ・二人で一本の竹に、液をつけてもらい、焼いていくときに一年目、二年目と木が育つようにして作っていった。 ・出来上がったバウムクーヘンを切ってもらい、試食した。残りは持ちかえりにした。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪の数が木の年齢だなんて知らなかった。しかも年輪の生長でその年の気候が分かるなんてすごいと思った。今度切り株を見たら、年輪をよく見ようと思った。 ・クラスのみんなで協力して作ればあんなにたくさんの生地ができることに驚いた。思っていたよりもバウムクーヘンが年輪に似ていてすごいと思ったし、とてもおいしかった。またみんなで作りたい。 		



	<ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘンは、何層も何層も重ねていくうちに年輪のように線ができることが分かった。今回は竹だったが、家でも作れないかと考えた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回この講座を子どもたちに体験させていますが、大きな木の切り株を見て年輪の様子を教えていただいた時、子どもたちの自然環境に対しての興味が膨らんでいると感じています。 ・天候が悪くて延期になっても、しっかりと対応していただきありがたかったです。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：5-2】

授業名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年2組	参加人数	35人
担当者	窪田 和哉	記入者	窪田 和哉
実施日(期間)	令和5年10月3日(火)		
講師名・実施概要	【番号：5-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>① 木の話と年輪について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹馬の森の木の種類について話を聞きながら木にできている年輪のでき方について教えていただく。  <ul style="list-style-type: none"> ・年輪の幅によって、その時の気候がわかり、自然環境を知ることができることなどを学んだ。  <p>② 実習(年輪に見立てたバウムクーヘン作り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで卵を割ったり、粉類を入れてかき混ぜたりした。  <ul style="list-style-type: none"> ・二人で一本の竹に、液をつけてもらい、焼いていくときに一年目、二年目と木が育つようにして作っていった。  <ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったバウムクーヘンを切ってもらい、試食した。残りは持ちかえりにした。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪に春夏と秋冬でできた部分があるなんて知らなかった。年輪の生長や 		

	<p>大きさや形からその年の気候が分かるなんてすごいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵を40個も割るのは大変だと思ったけど、みんなでやるとあっという間だった。だまにならないようにするのが難しかった。 ・バウムクーヘンを何層も何層も重ねていくと年輪みたいに、だんだん大きくなってきて、切ってみるとほんとうに年輪みたいになっていて驚いた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り株の学習をする中で、年輪からわかることを知ったり、大きな木の切り株を見て年輪の様子を教えていただいたりする中で、子どもたちの自然環境に対する興味が増えていると感じています。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：5-3】

授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年3組	参加人数	35人
担当者	沼尾 浩輝	記入者	沼尾 浩輝
実施日（期間）	令和5年10月5日（木）		
講師名・実施概要	【番号：5-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>1 木の年輪について 木の年輪ができる仕組みや年輪の見方、年輪の間隔を見るとその時代の気候などが分かることについて教えていただいた。</p> <p>2 木の間伐について 木を間伐する理由について、子どもを木に見立てて教えていただいた。また、間伐した木をどのように利用するのかなどについても話をいただいた。</p> <p>3 バウムクーヘンづくり 講師の方に手伝っていただきながら、はじめに材料を子どもたちの手で混ぜ合わせた。次に、二人一組で竹に材料をかけていただき、竹を回転させながら焼いていった。その工程を繰り返していき、木の年輪のように少しずつ厚くしていった。6～7回程度重ねて焼くことができた。</p>	  	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木に年輪があることは知っていたけど、年輪で木の年が分かったり、その時代のことが分かたりするのはすごいと思った。 ・間伐という言葉や間伐をする意味などを初めて知った。 ・バウムクーヘンがこうやって作られていることを初めて知ったし、木の年輪のでき方などをバウムクーヘンづくりを通して学習することができてよかった。 		



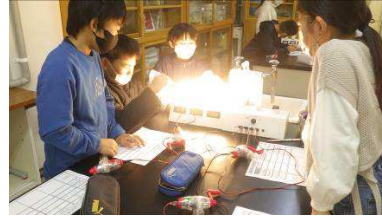
<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘンづくり</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校5年4組</p>	<p>参加人数</p>	<p>36人</p>
<p>担当者</p>	<p>麻和 正志</p>	<p>記入者</p>	<p>麻和 正志</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年10月5日（木）</p>		
<p>講師名・実施概要</p>	<p>【番号：5-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>① 木の話と年輪について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪の意味と樹木の年齢の計測方法について実際の丸太を提示されて説明があった。 ・その年の気候を知るには、過去の人間による記録には限界があるが、年輪の幅により、年による寒暖の差が具体的にわかる。その性質に驚きをもって児童たちは 触れることができた。 <p>② 実習 (年輪に見立てたバウムクーヘン作り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相当数の卵やバター、砂糖、小麦粉を攪拌し生地を作った。この生地が年輪の輪の中身になると見立て、木の樹皮になってくことを体感できた。 ・一本の竹を両側から二人で支え、生地を塗布してもらい、ローストビーフのように回転させて焼くことで、焦げ目をつける。児童たちは「1歳。2歳」と唱えながら、生地の層ができていく様と樹木の年輪の増加を重ねて想像していった。 ・バウムクーヘンができるときと山くらぶの方に整ってもらい、切片を試食した。 筒状の本体は分割され、それぞれ家庭に持ち帰った。 		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子供たちの反応、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪は知っていたが、気温によって詰まっていたり広がっていたりすることに驚いた。 ・二人で竹を持って回転させると、バウムクーヘンの元がどんどん焼けていい感じになっていった。これが年輪になっていくんだとよくわかった。 ・アツアツのバウムクーヘンを食べたのは初めてで、とてもおいしかった。 		









・木を切って年輪を調べるわけにいかないなので、今日は本物の木の年輪を見れてよかった。



2 先生方の感想、要望等

日本の樹木はほとんど手を入れた人工林であること、またそれを管理し持続させていくには人の手がきちんと入っていると改めて感じた。さと山くらぶの方々のご尽力には頭が下がる。児童もバームクーヘンの出来上がる様子から、樹木が長い間に太くなっていくことに感激と、思いをよせることができた。

授 業 名	あかりエコ教室		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和5年11月17日（金）		
講師名	パナソニック株式会社 成瀬 勲氏		
実施概要	1 講義 エコ・省エネについて 2 実験 ①何人の力でランプが点くか ②ランプを付けるための電力の大きさは 3 講義 今すぐできるエコ活動にチャレンジしよう		
実施状況 (授業風景)	1 講義 エコ・省エネについて 環境にかかわった話の中で、リデュース、リユース、リサイクルについての話を聞く。  2 実験 ①何人の力でランプが点くか 4人グループになり、一人ずつ手回し発電機を回しながら何人目で灯がついたかの実験をした。 ・白熱灯 ・蛍光灯 ・LED  ②ランプを付けるための電力の大きさはどれくらいか 3種類の電気をつけて、何ワットだったか観察記録した。  3 講義 今すぐできるエコ活動にチャレンジしよう SDGsについてや 自分たちの生活を振り返って、今できることを教えてもらった。 ・冷蔵庫の開閉 ・照明器具の使い方 ・テレビの利用の仕方 など		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・電気の実験は、手回し発電機を使って電気を発生させることができ楽しかった。3種類の電気の種類についての違いがわかってびっくりした。 ・電気の使い方や資源を無駄にはいけないと改めて思ったので、今後気を付けて生活をしていきたい。 2 先生方の感想、要望等 普段教室の電気をつけっぱなしにしたまま教室を開けることが多く、少しでも気にかけて「使わないときは消す」という意識が持てればと思いこの講座をお願いした。授業後は、しばらくは意識をしていたが、続かなくなってきたのが現状なので、学級で繰り返し話を続けていかなければいけないと思った。 授業は興味深く楽しめるものだったので良かった。		

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立中山小学校 特別支援学級	参加人数	3人
担当者	祝迫 なおみ	記入者	祝迫 なおみ
実施日（期間）	令和5年11月7日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他2名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な木の名前や年輪について、お話を聞いたり木に触れてみたりした。 ・卵を割ったり粉を混ぜたりして生地を作り、それを竹につけ炭火で焼くことを繰り返して、バウムクーヘンを作った。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>木に模様があるね。</p>	 <p>卵、粉、バターをよく混ぜよう。</p>	
	 <p>炭の上で竹を回して焼こう。</p>	 <p>切ってみると年輪の模様だ。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵を割るのが楽しかった。 ・上手に焼くことができてうれしかった。また作りたい。 ・お家の人や先生に「おいしい」と言ってもらってうれしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>学校の周りにある木や年輪について、実物を見たり触ったりしながら聞くことができ、子どもたちは関心をもつことができました。</p> <p>バウムクーヘン作りでは、子どもたちが主体的に活動できるように、安全面に配慮しながら声をかけたり手助けしたりしてくださり大変ありがたかったです。</p> <p>活動後、自分で作ったという満足感でとてもよい表情をしていました。お家の人や先生たちに喜んでもらったということも、子どもたちにとって貴重な体験になりました。</p>		

授業名	奈良井川・大河の一滴		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4年	参加人数	41人
担当者	伊藤 亜裕美・太田 郁子	記入者	伊藤 亜裕美
実施日（期間）	令和5年8月30日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	講師が実際に現地を歩いて撮影した写真やエピソードを交え、奈良井川の源流から信濃川の河口までをスライドで辿る。		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>当日に着用する装備を見せていただき、子どもたちも安心したようでした。川の中での姿勢についても子どもたちにわかるように実演して伝えていただきました。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>初めて会う講師の方に、子どもたちは興味津々でしたが、とても楽しくお話ししていただき、場が和んでスタートできました。</p>  </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボートから落ちたら立とうとしないで泳がないで足を上げてプカプカ浮いてラッコのポーズでいればいいことがわかりました。それは、みねちゃんがどうやって浮くかを例で見せてくれたからです。わかりやすく話してくれたので、安全に川下りができると思います。 ・泳いじゃいけないし、あわてたらいけないし、立とうとしたらいけないのを聞いて、気をつけたいと思いました。 ・川は人間が汚していると聞いて驚きました。海で死んだクジラの口の中がゴミだらけでびっくりしました。 ・1学期の社会科見学の時のことを思い出しました。水は長野県だけのものではないこと、川は大切なことをよく思い出しました。 ・人が川を汚したせいで魚が住めなくなってしまったのがかわいそうだと思います。山と川と海を大切にしていきたいです。 ・すごく分かり易く教えてくれて嬉しかった。「危険だな。」「安心だな。」が分かってよかったです。水の大切さを教えてくれて嬉しかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に川で活動している講師の方のお話をお聞きして、1学期に社会科「水はどこから」で学習したことを思い出すも多かった。橋の上から眺めるだけでなく、実際に入水し、川を体感することで、さらに川や海、自然環境に思いを巡らせることができるのではないかと思う。奈良井川と田川に挟まれた場所にある本校の子どもたちにとって、川はとても身近な存在であるので、事前学習として有意義な時間となった。 		

授 業 名	奈良井川・大河の一滴		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校5年	参加人数	40人
担当者	小林 直木・伊藤 牧絵	記入者	小林 直木
実施日（期間）	令和5年8月30日（水）		
講師名・実施概要	【番号：8-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講師の話を聞く</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ライフジャケットの解説を聞く</p> </div> </div> <p>源流から始まる川の流れについて、講師が撮影した写真にエピソードを加えながら分かりやすく説明していただいた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、私たちは田川で総合的な学習の時間をやっているけど、これって川を壊してるのかな？とも思った。なぜなら草をとったり土を掘ったり、作ったのをそのままにしておくことは、本当に川を大切にしているのかなと思ったからです。生き物をとって死んじゃうなら、捕まえないほうがいいと思う。 ・小峰さんの話を聞くと川、山はとてもすごいんだなと感じました。その理由は、川に魚がいるから私たちは魚を食べられていると考えると川はきれいじゃないと鮭などの食べられる魚はいないと分かったからです。山から水が流れてこないと川も作られないことが分かったからです。これからも川、山を大切にしていきたいと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>本校では、学校のすぐ脇を流れる田川をフィールドに総合的な学習の時間等を進めています。本事業を学校の教育活動に取り入れることで、学びが一層加速します。子どもの感想を授業に位置づけ、本校の学びを進めたいと思います。</p>		

授 業 名	梓川&奈良井川&犀川ラフティング		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校4年	参加人数	39人
担当者	伊藤 亜裕美・太田 郁子	記入者	伊藤 亜裕美
実施日（期間）	令和5年9月12日（火）		
講師名	【番号：8-1】と同様		



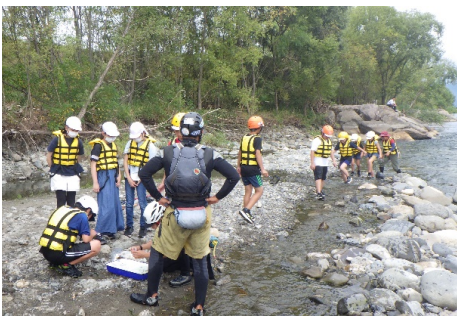
<p>実施概要</p>	<p>8人乗りボートに乗って犀川を下る体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平瀬緑地から白鳥湖までのスリリングな約8kmの冒険 ・水上から望む北アルプスの山脈や川辺の植生等、大自然を体全体で体感 ・ウェットスーツやライフジャケットを身に着け、川辺の活動における安全講習 <p>【1組】8:20 準備-9:00 バス乗車-9:30 平瀬緑地-10:00 ボート乗船-11:00 ゴール-11:30 アクアピアにてバス乗車-12:00 学校着</p> <p>【2組】12:20 準備-13:00 バス乗車-13:30 平瀬緑地-14:00 ボート乗船-15:00 ゴール-15:30 アクアピアにてバス乗車-16:00 学校着</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>←ボートでの水の掛け合いや、→みんなで輪になって浮いてみたことも、インストラクターの方が見守って下さる中だからこそ、安全に体験ができました。</p> </div> </div> <p>↓ボートから川に下りてみました。ボートにつかまっていなくて体が流されてしまうこと、足元の石がヌルヌルしていて滑って危ないこと、ボートに自力で上がるのが難しいこと等、やってみて初めて分かることばかりでした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>→みんなで約8kmのボートの旅ができました。途中、梓川と奈良井川の合流地点も見ることができました。</p> </div> </div> <div style="width: 45%; margin-top: 10px;">  </div>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めてボートに乗ったので、ちょっとドキドキしていたけど、みねちゃんが教えてくれたことを守ってできたからよかった。 ・川の流れて乗ってスイスイと進むのはとても気持ちよかったです。梓川の水は、川に入ると冷たくてきれいでした。上流にあまり人が住んでいないので、冷たくてきれいな水が流れてくると、教えてもらって分かりました。 ・ボートから川の流れを見ていたら、波のある所、ゆっくり流れている所や速い所があるのに気づきました。それに合わせてボートの動きがかわって、おもしろかったです。川下りで川の特徴を知り、川を楽しむこともできてよかったです。 ・木にゴミがひっかかっていたので、川を大事にしないといけないと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身が初めて体験しました。川の流れは意外と速く、ちょっとした岩などで滝のようになり、ボートが回転してしまうこともわかりました。川は危険だと遠ざけるだけでなく、安全に、正しく、楽しく、川遊びがで

	きるとても良い機会でした。梓川と奈良井川の合流地点もただ道路から見ただけでなく、川に入ってみて水温の違いを感じることができたのは今回ならではないと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：9-2】



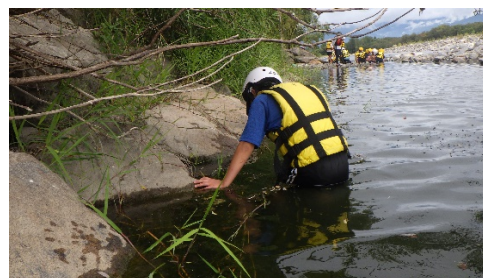
授業名	梓川&奈良井川&犀川ラフティング		
学校名、学年、学級	松本市立田川小学校5年	参加人数	40人
担当者	小林 直木・伊藤 牧絵	記入者	小林 直木
実施日(期間)	令和5年9月14日(木)		
講師名・実施概要	【番号：9-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>出発前、安全面についてレクチャー</p>  <p>川での安全な救助の待ち方を演習</p>  <p>パドルを漕いでラフティング</p>  <p>流れのある川で泳ぐことが困難なことを実際に体験</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>今日は自然が大事だなと思ったことがたくさんありました。いま私たちが立ち止まっている問題にも小峰さんはすぐに答えてくれました。それは『みんなのしていることは、川を壊していることにはならないから。逆にいいことしてるじゃん。』と言ったんです。みんなが困っていることをすらすらと解決してるんです。私はすごい人だなと思いました。すごくいい体験もしたし楽しくて一番良かった！</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>本校5年1組は、4月から田川へ通い、魚を捕まえたり花を摘んだり、自然の豊かさを五感で感じてきました。しかし、夏頃には子どもが立ち止まり「私たちのしていることは、川や自然を壊していることになるのではないかな。なぜなら、魚や虫、植物を人間の都合で捕ってはいけないと思うから」と口にしました。話し合っても答えが出ない中、今回の川下りをとおして講師の小峰さんともつながり、霧が晴れたように笑顔を増かせる子どもの姿が見られました。総合的な学習の時間の糧とすることができました。</p>		

授 業 名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	36人
担当者	加藤 良知	記入者	加藤 良知
実施日（期間）	令和5年9月4日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏 他4名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川の概略の説明 ・ 川の渡り方の講習 ・ 水生生物の観察、採集 		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川の流れが気持ちよかった。 ・ 水の中が見えなくて、足もつかなくて怖かったけど、浮くことができてよかった。 ・ 思ったよりもたくさん魚を見ることができた。小さな魚をすくうことができて、うれしかった。 ・ 足を上げたら思ったよりも長く流ることができて気持ち良かった。家族で川遊びができると思った。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが伸び伸びと活動することができて、ご指導ありがとうございました。 ・学校職員では指導が難しい部分を企画していただき、児童の体験が豊かになったと思う。
--	---

環境教育支援事業実施報告書




【番号：10-2】

授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年2組	参加人数	36人
担当者	小林 卓	記入者	小林 卓
実施日(期間)	令和5年9月4日(月)		
講師名・実施概要	【番号：10-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、100m先まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わった。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は足もつかず、怖いと感じていたが、網をもって生き物探しをしてみると、どんどん自分から浮いたり深いところへ探検したりした。 ・川は怖いと思っていたけど、とても楽しかったという感想がとても多かった。 ・カジカなどがとれたことで、生き物への興味を深めていた。 ・速い流れに足を取られそうになりながらも、一生懸命に歩いて渡り切った 		

	<p>子ども達は、とても満足そうな顔をしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・怖がっていた児童に寄り添って支えていただいたり、浅い所を歩かせてもらったりして安心して体験できた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段見慣れている川でも、実際に入ってみると流れは速く、冷たかったので、安全に体験させていただいたことに感謝。 ・網を一人一人持たせていただいたことで生き物を取ろうという意欲があり、積極的に川に入っていたので、良かったと感じた。 ・実は、担任が一番怖いと感じていたかもしれない。でも、子ども達の逞しさを改めて見せていただいた。安全なコースを設定していただいたおかげで、安全に体験できた。川と関わることで川や身近な環境を大切にできるという話に共感した。
--	---

環境教育支援事業実施報告書




【番号：10-3】

授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年3組	参加人数	35人
担当者	野村 仁	記入者	野村 仁
実施日(期間)	令和5年9月4日(月)		
講師名・実施概要	【番号：10-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		


授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しそうだった。 ・不安そうな表情の児童もいたが、水に入れば一人として嫌がる児童はいなかった。 ・「梓川のことを知れたし、もっと好きになった。」 ・「梓川は近くの川なのに水遊びをしたのは初めてで、またお父さんと来たい。」 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を出て体験することの素晴らしさを実感した。 ・安全ではあるけれど少し危険な感じが、子ども達を夢中にさせるのだと思い、指導員さんたちに感謝している。
--------	--

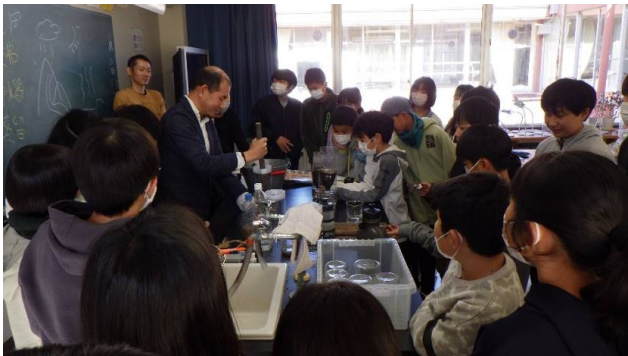
環境教育支援事業実施報告書

【番号：10-4】




授業名	梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年4組	参加人数	37人
担当者	小須田 涼太	記入者	小須田 涼太
実施日（期間）	令和5年9月4日（月）		
講師名・実施概要	【番号：10-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>梓川の流れる方向の確認、右岸と左岸の使い分け、河川に据えられた波緩衝材の役割など、川遊びをする上での留意点を話していただいた。</p> <p>○川の渡り方の講習</p>  <p>川に飛び込み、対岸まで泳いで渡った。プールとは違い、足もつかず底まで見通せない川を泳いで渡る経験ができた。また、浮かんで流れる体験も行った。川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川でとれる生き物の種類が多いことに驚きながら、魚をすくいとったり、水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		



<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段はなかなかできない体験ということもあり、前日から子どもたちはとても楽しみにしているようだった。当日は、どの子も生き生きとした表情で活動に参加することができていた。学校で活動の振り返りをすると、多くの子が「川の楽しさ、怖さを感じる事ができた」と書いていた。体全体を使い、梓川のことがより身近に感じる事ができたとともに、大自然への畏怖も感じる事ができた貴重な機会となったようだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>川の中に飛び込んだり、流れに身を任せたり、ダイナミックな活動であったにもかかわらず、「安全第一」に考えて子どもたちに指導してくれたり、職員の方が危険な場所に立ってくださったおかげで、普段なかなかできない体験であっても、安心して参加することができた。</p>
---------------	--


授 業 名	手作りろ過機で飲み水作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年1組	参加人数	36人
担当者	加藤 良知	記入者	加藤 良知
実施日（期間）	令和5年11月16日（木）		
講師名	すえなみブッシュクラフトスクール長野 末次克洋氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、生き残るには何が必要なのか学ぶ ・手作りろ過機を製作する ・実際に泥水をろ過してみる 		
実施状況 (授業風景)	<p>最初に、災害があったときに生き残るために必要な5つのものについて学びました。</p> <p>その後、生き残るために必要なもののひとつ「水」をどう確保するのかについて学び、実際に砂や燐炭、小石などをペットボトルに詰めて手作りのろ過機を作りました。</p> <p>用意してあった泥水をろ過してみると、茶色に濁った水がペットボトルの先から透明になって出てくる様子を見て、みんな驚いていました。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過機は、泥水が透明になって出てきてすごかった。 ・災害時に生き残るには何が必要なのか学ぶことができた。もしもの時は、必要なものをそろえたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>いざ災害が起きた時、どんなものが必要で、何をすれば生き残ることができるのかということについて、普段全く考えていませんでした。この授業では、そんないざという時に大切なことを教えてもらうことができました。</p> <p>手作りろ過機は、特別な材料がなくても飲み水を手に入れられることが分かり、さらに子どもたちはあんなに汚かった水が透明になって出てくることに驚いていました。一回ろ過した後、その水をまたろ過して、さらにきれいな水を作ろうとしている児童もいました。</p>		


授 業 名	手作りろ過機で飲み水作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年2組	参加人数	36人
担当者	小林 卓	記入者	小林 卓
実施日（期間）	令和5年11月16日（木）		
講師名・実施概要	【番号：11-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>最初に、災害があったときに生き残るために必要な5つのものについて学んだ。</p> <p>その後、生き残るために必要なもののひとつ「水」をどう確保するのかについて学び、実際に砂や燐炭、小石などをペットボトルに詰めて手作りのろ過機を作った。</p> <p>用意してあった泥水をろ過してみると、茶色に濁った水がペットボトルの先から透明になって出てくる様子を見て、みんな驚いていた。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過装置を通すだけで水が透き通るほどにきれいになっている様子に驚き、とてもうれしそうだった。 ・教室に帰ってからも何度もろ過装置に水を通して楽しんでた。 ・災害などで緊急事態になった際に身近にある道具でなんとか生き延びれることを実感していた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>生活に欠かせない水を自分の手で作れるということにまず驚いた。もしも水道が機能せず、飲み水が必要となったときに「配られるのを待つしかないのか。」「いつになったら水が来るのか。」とパニックになってしまいそうだが、ろ過装置からきれいな水を自分で作れることを知っておけばとりあえず行動はできるなど感じた。子どもたちでも簡単に作れる装置を教えていただき私も勉強になった。</p> <p>生きていくために工夫次第でどうにでもなるということを決回の授業から学ばせていただいた。火や電気など他のものも身近な材料から生み出せることを聞いたので機会があれば子どもたちと一緒に学びたい。</p>		

授 業 名	手作りろ過機で飲み水作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年3組	参加人数	35人
担当者	野村 仁	記入者	野村 仁
実施日（期間）	令和5年11月17日（金）		
講師名・実施概要	【番号：11-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>まず、災害が起きて命を確保しなければいけない時に必要な5つの要素について学びました。</p> <p>次に、飲み水を確保するにはどうすればよいか学び、その後実際に手作りのろ過機を作り、泥水から飲料水を作りました。</p> <p>災害時に使える浄水器についても紹介していただきました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドロドロだった水が、ろ過器を通すことによって透き通った水になっていることに驚いていました。 ・楽しんでろ過をする様子がありました。 ・実際にやってみて、身近な材料で水がきれいになることが分かりました。いざという時にはやってみたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>災害時に生き延びるにはどうしたらよいか、大切な要素を知っていると知らないのでは、生き延びることができる確率がずいぶん変わるのではないかと思います。</p> <p>汚い水でも、身近なものでろ過することができることを知ることで、災害時には自分で飲料水を作れることが分かり、本当にためになりました。</p> <p>普段の生活ではほとんど考えない「生き延び方」について考えることは、我々にとって必要なのではないかと思います。</p>		

授 業 名	手作りろ過機で飲み水作り		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校6年4組	参加人数	37人
担当者	小須田 涼太	記入者	小須田 涼太
実施日（期間）	令和5年11月17日（金）		
講師名・実施概要	【番号：11-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>最初に、災害があったときに生き残るために必要な5つのものについて学びました。</p> <p>その後、生き残るために必要なもののひとつ「水」をどう確保するのかについて学び、実際に砂や燐炭、小石などをペットボトルに詰めて手作りのろ過機を作りました。</p> <p>用意してあった泥水をろ過してみると、茶色に濁った水がペットボトルの先から透明になって出てくる様子を見て、みんな驚いていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろ過機は、泥水が透明になって出てきてすごかった。失敗から学ぶ姿があり、生きる力がついていると感じた。 ・災害時に生き残るには何が必要なのか学ぶことができた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>男子のろ過装置に対する食いつき方が面白く、普段行うことのない活動であったため、見ているこちらも楽しく学べた。</p> <p>活動後しばらくろ過装置を置いていたが、今度は女子が何度も水を通しており、よりきれいな水作りをしていた。</p> <p>クラス全体として、参加の仕方はそれぞれであったが、興味深く、貴重な体験ができたと感じる。</p>		


授 業 名	梓川大好き！大河の一滴スライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年	参加人数	111人
担当者	山守 弾	記入者	山守 弾
実施日（期間）	令和5年6月21日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏		
実施概要	「大河の一滴」講演会 ・水がめぐっていること ・梓川の流れについて ・梓川環境について（人工物やごみについて） ・川遊びの注意点		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>普段私たちが使っている水が、自然の中で、循環していることを教えていただいた。また、使った水は自然の力できれいになっていることの説明もあった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>梓川の流れについて、川の始まりやダムがあることなどを教えていただいた。梓川が65kmあることや奈川と合流して犀川なることを知り、子どもたちは驚いていた。</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに川にごみを捨てている人がいることに驚いた。ゴミを捨てたせいで、生き物が死んでしまっているのが、かわいそうでした。 ・自然を守り、自分たちも他の生き物も良いくらしができるようにがんばりたい。 ・あんなにもゴミがいっぱいあって、人間はなんてことをしているんだと思いました。 ・大人になっても川はきれいでいてほしいし、いつもまでもをきれいにしていきたい。きれいな川で遊びたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の危険さを学びながら、同時に川が楽しいところで自分たちも遊んでみたいという想いを持つことができた。。 ・普段使っている水がどこから流れてくるのか、どこへ流れていくのか、知ることができた。 ・社会科で水について学習をしている中で、子どもたちにとって身近な梓川を題材に話していただけたことで、子どもたちが水に対する理解を深めることができた。 ・梓川は昔きれいな川であったことや今は汚れていることを知り、自分たちの身近な川をきれいな川にしたい、きれいに使ってほしいという願いを持つことができた。 		

授 業 名	水殿ダムラフトピクニック		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年1組	参加人数	36人
担当者	岡村 亜紀	記入者	岡村 亜紀
実施日（期間）	令和5年7月10日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水殿ダム湖でボートに乗り、パドルの漕ぎ方を教わる。 ・水殿ダム湖に飛び込んだり、浮いたりしながら自然を楽しむ。 ・水殿ダム湖に流れている水の源流をたしかめたり、川遊びをしたりする。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>活動中の約束、自分の命を守るライフジャケットやヘルメットを確認しました。一番危険なのはパドルの柄であることを知ると、慎重に道具を扱う姿が見られました。担当のインストラクターの先生とすぐに仲良くなり、期待に胸を膨らませ、ダム湖へ向かいました。</p>  <p>水に入ること抵抗を示す子もいましたが、ボートに乗るとすぐにパドルを使って漕ぎだしました。みんなで声を合わせながら、パドルを漕ぎました。気持ちを合わせるとグングン進みました。パドルを使っての水の掛け合い合戦や、気持ちを合わせる掛け声、パドル合わせなどを楽しみました。</p> <p>ダム湖の奥へと進むと、飛び込んでみようというインストラクターの先生から提案があり、たくさんの子がダム湖へ飛び込んでいきました。ダム湖で浮かぶかと浮いたり、潜ったりしながら、湖の自然を満喫することができました。</p>  <p>ダムの河原にたどり着き川の源流を見ました。小さな隙間から水が湧き出ているところで泡が上がってくるのを見て驚いていました。また、平らな</p>		

	<p>石を使って水切りをしたり、水生生物をみつけたりしました。思う存分川遊びを楽しんでいました。</p>  <p>最後は元の場所まで泳いでいきました。足がつかない深い場所も怖がることなく、泳ぐことができました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みねちゃんの話聞いて、ダムは人間にとってはとてもいいものだけど、自然にとってはいけないものだと分かった。僕たちは自然を大事にして生きていきたい。 ・すごく怖かったけど、飛び込んでみたらダムはすごくおもしろかった。また明日も来たいと思った。来年もダムに来たい。 ・水は地下を通過して浮いてくるところが分かった。湧き水はすごく冷たくて、足がちぎれるかと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子どもたち以上に担任も楽しみました。自然を目、耳、鼻、肌、すべてで感じられたことが素晴らしかったです。楽しい活動の中で、人工物があることによる生活への恩恵と、人工物による自然破壊について考えさせられました。</p> <p>普通に生活していたら絶対に体験できないことを体験させていただき、本当にありがとうございました。ぜひ、また参加させていただきたいです。</p>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：13-2】

<p>授業名</p>	<p>水殿ダムラフトピクニック</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立梓川小学校4年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>34人</p>
<p>担当者</p>	<p>横内 太登</p>	<p>記入者</p>	<p>横内 太登</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和5年7月10日(月)</p>		
<p>講師名・実施概要</p>	<p>【番号：13-1】と同様</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>まず川に入る時の約束やライフジャケットの着方等を確認しました。みんなこれから、ダム湖で水を体験することに胸を躍らせ、わくわくしながらインストラクターに連れられ、ダム湖に向かいました。</p>		



ボートに乗り、パドルの使い方を教わりました。班のメンバーで心を合わせて、パドルをこぐことが大切だと教わり、一生懸命声を出して漕いでいました。前に進んでいる班に追いつこうと一生懸命漕ぐ姿、近くにいる班にパドルを使って水をかけ合い遊ぶ姿がとても印象的でした。途中、ダム湖に飛び込む体験をしました。こわがりながらも、次々とダム湖に飛び込んでいました。ボートに戻ることが難しい様子でしたが、友だちに引っ張り上げてもらう姿もあり、友とのかかわりを垣間見る瞬間でした。



河原に行き、川の源流を見に行きました。小さな隙間から水が湧き出ているところに行き、子どもたちは大変驚いていました。河原で見つけた平らな石を使って水切りをしました。水切りを初めてしたという人もいて、川遊びを体験するととても貴重な機会となりました。



岸に近づくと、ボートから湖に飛び込み、泳いで岸まで泳いでいました。最初はダムの広さや広大な自然の中で緊張していた子どもたちでしたが、活動を通し、水遊びの楽しさを実感していました。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ダムに入ったとき足がつかなかったのが、最初は、怖かったけど慣れてくると、逆に足がつかないプールみたいで楽しかったです。
- ・初めてボートになったけど、前こぎや後ろこぎのやり方がわかって楽しかった。
- ・ダムができる前は、川にたくさんサケなどがいたけれど、ダムができてから、川の水が少なくなってサケなどがいなくなったことが分かった。
- ・9月の梓川で行うリバーアドベンチャーがとても楽しみになりました。

2 先生方の感想、要望等

ダム湖に入って、ボートに乗ったり、飛び込んだりすることができるとても貴重な機会でした。子どもたちと共に、同じことを体験し分かち合うことができ、とても楽しく良い時間を過ごせたように感じます。

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年3組	参加人数	37人
担当者	山守 弾	記入者	山守 弾
実施日（期間）	令和5年7月10日（月）		
講師名・実施概要	【番号：13-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>まず川に入る時の約束やライフジャケットの着方等を確認しました。ただ、一番大切なのは、川遊びを楽しむことです。期待に胸を膨らませ、ダム湖へ向かいました。</p>		
		<p>ボートに乗り、パドルの使い方を教わりました。どうすればたくさん進むかを聞き、みんなで声を合わせながら、パドルを漕ぎました。また、パドルを使って、友だちと水を掛け合いながら、水遊びを楽しみました。</p>	
	<p>途中、ダム湖へ飛び込んで良いことを伝えられると、怖がって誰も飛び込もうとしませんでした。ですが、1人、2人と飛び込む子が増えていき、最後にはたくさんの子がダム湖へ飛び込んでいきました。ダム湖でぶかぶかと浮いたり、潜ったりしながら、湖の自然を満喫することができました。</p>		
	 <p>河原に行き、川の源流を見に行きました。小さな隙間から水が湧き出ているところに行き、子どもたちは大変驚いていました。また、泥岩をこすって泥を出し顔に落書きしたり、平らな石を使って水切りをしたりしました。思う存分川遊びを楽しんでいました。</p>		



最後は元の場所まで泳いでいきました。足がつかない深い場所も最後には、怖がることなく、泳ぐことができました。大変楽しく活動できました。




授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・みんなで協力してボートをこいだことや平たくて丸い石をたくさん見つけてみんなで水切りをしたことや、ボートから降りて手を離して浮いた事が楽しかったです。
- ・海から、来た水が川になっているかと思ったら、なんと湧き水から川になっている事を初めて知った。
- ・石が落ちてきているのは火山の石が崩れて落ちてきているということを初めて知った。水は意外と冷たくて凄い深かった。
- ・深い所とか浅い所とか色がほとんどは青色なのにエメラルドグリーンのところがあるのは驚きました。

2 先生方の感想、要望等



これまでの自然体験活動の中で、個人的には一番楽しかったです。森の静けさや湖に飛び込んだり、ボートを漕いだりする楽しさを感じることができ、子どもたち以上に活動を楽しむことができました。子どもたちにとって、めったにできない体験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ぜひ、また参加したいです。

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年1組	参加人数	37人
担当者	岡村 亜紀	記入者	岡村 亜紀
実施日（期間）	令和5年9月5日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏 他4名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川の概略の説明 ・ 川の渡り方の講習 ・ 水生生物の観察、採集 		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p>  <p>水が流れる方向を水面の泡の様子で見分ける方法や、川遊びをする上での危険について話していただいた。人間が川から離れてしまった理由などにも触れ、川を理解して遊べば楽しく遊べる場所であることを教えていただいた。</p> <p>○川での浮き方、泳ぎ方の講習</p>  <p>足のつかない深さの川に入り、流れに身を任せて浮かぶ体験をした。50mほど下流に流れた。プールとは違い、流れがある川での経験ができた。 川の複雑な流れに身を任せる心地よさを味わうことができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p>  <p>実際に水生生物の採集をし、生き物の名前を教えていただいた。梓川で見られる生き物の種類が多いことに驚きながら、楽しんで生き物の採集をした。目の前の魚をすくいとったり、岩の下から出る水生昆虫をとらえたりする楽しさを味わうことができた。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 始めは不安そうな表情だったが、水に入れば一人として嫌がる児童はいなかった。水の流れに身を任せて浮かぶということが、とても心地よかった様子だった。講習があつという間で、物足りない様子の子どもたちだった。 ・ 「梓川は近くの川なのに水遊びをしたのは初めてだった。川は怖いと思っていたけど、怖くなかった。ちゃんと危険を理解して危ないことをやらない 		

	<p>ければよいと分かった。またお父さんと来たい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「梓川のことを知れたし、もっと好きになった。」 ・「もっと川のことを知りたいし、川の良さをみんなに知ってほしい。」 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達がとても喜んでいて、学校を出て体験することの素晴らしさを実感した。 ・安心して活動できるのは指導員さんたちのおかげである。子どもたちにとって魅力的な冒険だった。指導員さんたちに感謝です。 ・身近な梓川を存分に楽しみ、好きになって、その良さを次の世代につないでいってほしいと願う。
--	---

環境教育支援事業実施報告書





【番号：14-2】

授業名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年2組	参加人数	37人
担当者	横内 太登	記入者	横内 太登
実施日（期間）	令和5年9月5日（火）		
講師名・実施概要	【番号：14-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の概略の説明</p> <p>梓川にペットボトルを落とし、ライフジャケットで浮ける場所、ライフジャケットをつけていても沈んでしまう場所を教えてください。川の中でも、泡が出て白くなっている場所は溺れる危険性があること、危険な場所や正しい遊び方を理解すれば、楽しく川遊びができることを理解できた。</p> <p>○川での浮き方、泳ぎ方の講習</p> <p>大の字になりながら浮かぶとよいと教わり、50mほど梓川の流りに身を任せ、川の流れを感じることができた。水が怖いと感じる子も、リラックスし体の力を抜くことで自然と体が浮いてくることを体験することができた。</p> <p>○水生生物の観察、採集</p> <p>生き物を網ですくって採集しながら、いろいろな水生生物の名前を教えてください。梓川には、水の透明なところを好む水生生物や水の濁っているところを好む水生生物が共存していることを理解できた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の危険性、どういったことに気を付ければ安全に川遊びができるのかの講義について、とても真剣に話を聞いている様子だった。川に関する事故を踏まえ、話をしてくださったことで、自分たちにとって身近なこととして考えられることができた。 ・水生生物の観察では、今まで見たことのない生き物、珍しい生き物を見つけ、目を輝かせながら活動していた。また、捕まえた生物を説明してもらうことで、生態系や生き物の住みやすい環境について興味をもっている様子だった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって、身近な川について知り、体験する良い機会だったと思う。 ・学校で勉強した水に関することを体験することを通し、あらためて知ることができてよかった。また、自身が体験することで、身近な自然を大切にしようという気持ちが養われてよかった。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：14-3】

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年3組	参加人数	37人
担当者	山守 弾	記入者	山守 弾
実施日（期間）	令和5年9月5日（火）		
講師名・実施概要	【番号：14-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○梓川の説明、水生生物について、川遊び</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <p>川遊びの楽しさや梓川の素晴らしさ、梓川にいる水生生物の種類や特徴、川に潜む危険な場所など、川や自然について詳しく教えていただきました。</p> <p>その後、川の流れに身をまかせ自然をおもいきり楽しんだり、水辺の生き物を捕まえて新たな発見をしたりする子どもたちの姿がありました。</p>		

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等



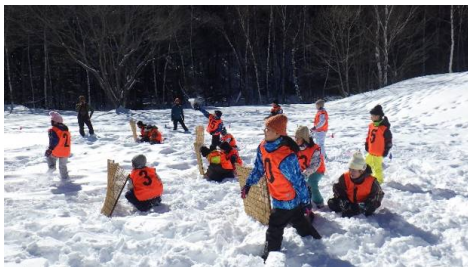
・川には、いろいろな生き物がいて、おたまじゃくしや貝、メダカなどがいました。ふ化しそうな生物も見つけたので、とてもうれしかったです。おたまじゃくしや魚類をさわることもしました。

この貴重な体験をさせてもらって、自然に感謝です。

・川に入ったらつめたくて気持ちよかった。また、いろいろな生き物を取ったり、見たりして楽しかった。ライフジャケットを着ていても、沈みそうでこわかった。だけど、うき方を教えてもらって、絶対しずまないとわかり、安心できた。水が落ちると白く見えるのは、しょうげきが与えられるからだと思っていたけど、ほんとうは、落ちる時に空気がくっついているからなんだと初めて知った。

2 先生方の感想、要望等

・学校の外へ出て自然に触れることで、学ぶことが多いんだと改めて感じることができました。「百聞は一見に如かず」という言葉にある通り、聞いて知ったことと体験することはまったく違います。改めて自然の豊かさを実感することができました。また、川の水生物が以前と変わってきていることを聞き、このきれいな梓川をこれからも残していきたいという願いが子どもたちから生まれてきました。この想いを大切にして、自分たちはどんなことができるか考えて行きたいです。

授 業 名	スノーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年1組	参加人数	36人
担当者	岡村 亜紀	記入者	岡村 亜紀
実施日（期間）	令和6年2月13日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏		
実施概要	<p>○乗鞍のトレッキング（休暇村周辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪についての話 ・山や川、池等自然環境に関する解説 <p>○雪上運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪合戦 ・綱引き 		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>○乗鞍トレッキング 雪を食べたり、においをかいだり、雪にダイブしてみたり、五感で大自然を感じることができました。雪の滑り台に大興奮でした。</p> </div> <div style="margin-bottom: 20px;">  <p>池の上に恐る恐るのってみました。雪を掘ってみると、水が染みだしてきて、慌て逃げる一幕もありましたが、雪の性質を肌で感じることができました。。池から見る乗鞍岳が最高でした。</p> </div> <div>  <p>○雪合戦・綱引き 思いっきり雪合戦と綱引きを楽しみました。楽しみながら、雪に親しむことができました。</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スノーアドベンチャーに毎日行きたい。 ・山がなければこんなことができなかつたと思いました。自然の大切さを知りました。 ・綱引きでは、引っ張ったり引っ張られたり、勝敗関係なく楽しむことができました。 ・雪は場所によって肌触りが違ったり、見え方が違ったりすると分かりました。 ・またお家の人と乗鞍へ行ってみたいです。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の学習の集大成、雪の中で思いっきり乗鞍を堪能しました。 ・乗鞍があるからこそ梓川があるということ、水や雪の一滴が自分たちの暮らしを豊かにしていることが感じられる活動でした。 ・子どもたちの本気の笑顔がとても素敵な1時間でした。 ・天候に恵まれて美しい乗鞍岳を見ることができ、本当に良かったです。
--	--

環境教育支援事業実施報告書



【番号：15-2】

授業名	スノーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年2組	参加人数	37人
担当者	横内 太登	記入者	横内 太登
実施日(期間)	令和6年2月13日(火)		
講師名・実施概要	【番号：15-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○雪についての話</p> <p>雪を五感で味わった。講師の「きらきらしているのは雪の結晶だよ。」という話を聞き、雪に顔を近づけじっくり見つめていた。また、雪の味を確かめる場面では、「美味しい」や「シロップをかけて食べたい」と言いながら、雪を味わっていた。雪にダイブしたり、走り回ったりすることを通して、雪に慣れ親しむことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○乗鞍トレッキング</p> <p>雪上を歩いたり、池の上に乗って、乗鞍岳を眺めたりした。急斜面を滑る活動や、深い雪の上を歩いていく活動を楽しんで行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: center;">  </div> <p>○雪合戦・綱引き</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;">  <div style="width: 60%;"> <p>思いっきり雪合戦と綱引きを楽しんだ。素手で雪に触り、笑顔で雪玉を投げる姿があり、楽しみながら、雪に親しむことができた。</p> </div> </div>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍で遊んだことがなかったから、とてもうれしかったし、楽しかった。 ・家族の人やバスを運転してくれた人や峰ちゃんなど、たくさんの人に感謝したいと思った。 ・日陰の雪はやわらかくて、さらさらしていることが分かった。 ・雪は水にかわり、40年かけて地下水になり、お酒を造っていると聞き、水を大切にしようと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪遊びにも、色々な手段があり、あっという間の1時間でした。講師の方の話で、より雪に対して興味を抱き、楽しみながら体験する子どもの姿が見られました。 ・雪が解け、40年かかり地下水となり、私たちの生活を豊かにしていることを知りました。雪が、私たちの生活にとってとても大切なものであることを感じることができました。 ・天候に恵まれて美しい乗鞍岳を見ることができ、本当に良かったです。
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：15-3】





授業名	スノーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校4年3組	参加人数	37人
担当者	山守 弾	記入者	山守 弾
実施日（期間）	令和6年2月13日（火）		
講師名・実施概要	【番号：15-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>○雪山散策</p> <p>乗鞍の牛溜池のまわりを散策した。山を歩く中でパウダースノーの雪を触ったり、飛び込んだりした。また、凍っている池の上を歩いたり、穴をほったりした。凍った池の上を歩くのが初めてだった子が多く、本当の池と知った時、子どもたちは大変驚いていた。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>○雪遊び</p> <p>雪合戦したり、雪の上で綱引きをしたりして雪遊びをおもいっきり楽しんだ。いつも何気なく雪で遊んでいる子どもたちであるが、しっかりルールを決めて雪合戦、綱引きをするのは、初めてだった子が多かった。一人ひとりが遊びに夢中になっていた。雪で遊ぶ楽しさを再確認したようだった。</p> <div style="text-align: center;">  </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽の光を浴びた雪はとってもキラキラしていました。きれいな雪に飛び込んだらふわふわで気持ちよかったです。 ・自然と触れ合うことが大切なことで、この活動のおかげで自然がとても好きになりました。 ・こわくてもとりあえずやってみるということがとても大切なんだなと感ずることができました。 ・山では、酸素がうすくてすぐ疲れる感じがしました。行ってみて、はじめてわかったので、とてもびっくりしました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>市街地に住んでいる子どもたちにとって雪山を散策する経験をするのは、ほとんどないです。大変貴重な経験でした。また、雪遊びに夢中になっている子どもたちが大変楽しそうで、乗鞍まで来てよかったと感じました。自分たちの身近にある乗鞍でこんなにも楽しい体験できることを知り、松本の魅力を再確認できたのではないのでしょうか。これからの活動にも生かしていけると良いと思いました。</p>
---------------	---

<p>授 業 名</p>	<p>美ヶ原高原の自然や登山の仕方について学ぼう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立並柳小学校5年</p>	<p>参加人数</p>	<p>69人</p>
<p>担当者</p>	<p>加藤 恵子・長幅 樹</p>	<p>記入者</p>	<p>加藤 恵子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>美ヶ原の自然や登山についての講義（並柳小学校） 5月25日（木） 安全な登山をし、美ヶ原高原の自然について学ぶ（美ヶ原高原） 5月31日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 松場 省吾氏</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美ヶ原高原登山のために、登山の楽しさや気を付けなければならないことなどを講義形式で学んだ。自然の素晴らしさ、「自然を大切にする」ということの意味について学ぶことができた。 ・美ヶ原登山をしながら、安全に登山をする方法や美ヶ原の植物（ヒカリゴケ等）、地形の特色（約2000メートルの頂上に平らな高原があり、牛が放牧されていることや、火山の噴火で溶岩が固まったための岩石の特徴など）を学んだ。 		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>美ヶ原高原の頂上には塔があるんだ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>登山で気を付けることがいろいろある</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>いろいろな木の種類がある。 広葉樹だ。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>約2000メートルの頂上まで行くには、体力が必要だ。 エネルギーを補給するために行動食は欠かせない。 菓子パンやおにぎりを適度に食べるとよいということを学んだ。</p> </div> <p>・「美ヶ原高原について学ぼう」「安全な登山の仕方について学ぼう」ということで、事前学習を行った。初めて登山を体験する児童も多く、疲れてしまったり、ペースがつかめなかったりするためにその場で歩き方を教わった。また、一列の隊列の際の点呼の取り方や友達と互いの安全を確認しながら登る方法、登山の際のマナーなどについての詳細も教えてもらった。</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・美ヶ原高原登山の当日は、途中で隊列を止めて美ヶ原の自然について話をしていたいたり、そこに住んでいる動物などについても教えていただいたりした。 ・頂上では天候が変わり、風が強く、非常に寒かったので、講師の先生の判断でお弁当を食べる場所や休憩する場所を変更することができ、安全に登山して戻ることができた。 ・当日、雨天で登山中止になった場合は、ネイチャーゲームや美ヶ原の自然や生き物について講義していただく予定になっていた。
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美ヶ原登山は大変と聞いていたので、事前学習で、松場さんがいろいろ話してくれて不安が減った。 ・自分は、高所恐怖症なので、登山がすごく心配だったけれど、事前学習をして、登れるかもしれないと思った。 ・約 2000 メートルと聞いて、行く前は、正直「行きたくないな。」と憂鬱だったけれど、実際に登ってみたら、景色はきれいだったし、達成感があって楽しかった。 ・途中で疲れてしまったので、もう休みたいと思ったけれど、講師の松場さんが、「後ろをついてくれば大丈夫。」と言ったので、ついて登ったら、頂上まで登ることができた。 ・頂上が草原（平ら）になっていて、牛がいて驚いた。牛が熱中症にならないように、「塩くれ場」に塩を置いておいて、それを舐めているということがわかった。 ・登山は同じペースでジグザグに登っていけば、疲れないということがわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任二人も登山の経験が浅く、コロナ禍で子どもたちも山に旅行にいたり、家族で登山したりする経験がほとんどなかったので、心配だったが、「やまたみ」から専門的な知識を持った講師の先生がついて行ってくださって、とても心強かった。 ・例年なら、飴を配布するだけで、しっかりとした行動食は持たせていなかった。しかしながら、子どもたちが疲れず、安全に登山するには、しっかりとしたエネルギー補給が重要であり、米やパンなどを途中で食べる必要があるということを講師の先生に教えていただいてよかった。 ・雨天の場合、登山は中止でも、キャンプ決行だったので、その際に行うはずだったネイチャーゲームや美ヶ原の自然についての話なども講師の先生が準備してくださったり、教えてくださったりしたこともよかった。 ・コロナ禍で登山やキャンプなどが中止になっていることも多かったため、教師も知識や経験が少ない場合があるので、専門的な講師の方についていただく必要がこれからもある。また、そのような環境教育の面での講師の方がいらっしゃることを偶然知ったので、申し込みがギリギリになってしまった。ぜひ、市で予算化したり、積極的に情報をいただけたらするとありがたい。

<p>授 業 名</p>	<p>生き物から学ぶ環境学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立四賀小学校4年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>20人</p>
<p>担当者</p>	<p>柳沢 準二</p>	<p>記入者</p>	<p>柳沢 準二</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年6月27日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>松本ホタル学会 藤山静雄氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>○生物の多様性とホタルの生態の講義 ○四賀小学校横の保福寺川の水生動物の採集と環境分析</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○藤山静雄先生による生き物多様性の重要性についてのお話や、ホタルも生きることのできる環境についてのお話を、クイズを取り入れていただき、楽しい雰囲気で見学も学習しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物多様性の講義の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クイズに答える児童</p> </div> </div> <p>○後半は、四賀小学校横に流れる保福寺川の環境を調べるため、水生動物の採集を行い、学校にもどって生き物の分類と分析をしました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>保福寺川での生き物採集</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生き物の分類と環境分析</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホタルだけを保護しようという考えでは、良くないことが分かった。 ・人間がこわした環境のせいで、絶滅危惧種がたくさんいることが分かった。 ・保福寺川は、予想以上にたくさんの生き物がいてびっくりした。 ・四賀地区は環境が良いことが分かったので、この環境を保っていきたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年連続して、松本ホタル学会の藤山先生をはじめ、会員の方に来ていただいて生き物と環境について楽しく学ばせていただいている。四賀地区にたくさん飛び交うホタルについてより深く学ぶきっかけになっている。子どもたちは、松本ホタル学会のみなさんと交流ができ、より自信をもって総合的な学習に取り組んでいると感じます。 		

授業名	緑のカーテンで、ひょうたん人形を作ろう（棚づくり）		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	3人
担当者	馬場 美穂	記入者	馬場 美穂
実施日（期間）	令和5年6月20日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん棚のイメージ図、設計図相談 ・竹を使った棚づくり ・看板づくり ・ひょうたん苗の植え付け 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「鈴木さん、おれたちね、こういうひょうたんの棚作りたいたんだよ」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「こう、2重に結ぶと、丈夫になる。やってみるかい？」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「おれ、押さえてるんで。そっちしばって！」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「思った通りの棚ができた。水やり、がんばらないとね」</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思った通りのひょうたんの棚ができた。 ・小さいひょうたん、大きいひょうたんを育てて、人形を作りたい。 ・水やりをがんばらないといけない。 ・鈴木さんたちが、すごいいっぱい竹を持ってきてくれた。 ・これから、毎日ひょうたんの研究をする。 ・緑のカーテンがあると本当に涼しくなるのかも確かめたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの思い描きを相談したところ、ひょうたんの棚の材質から大きさまで、具体的に相談に乗っていただいた。 ・自然のもので作った緑のカーテン（トンネルだが）は、ただ「ひょうたんの棚を作る」だけではなく、「おれたちだけのひょうたんの棚」という意識を子どもたちが持て、かけがえのない「おれたちの場所」となった。 ・鈴木さんたちの人柄にも触れることができ、子どもたちの中に、自然と感謝の気持ちが芽生えた。 		

授 業 名	緑のカーテンで、ひょうたん人形を作ろう（ひょうたん人形づくり）		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	4人
担当者	馬場 美穂	記入者	馬場 美穂
実施日（期間）	令和5年10月18日（水）、19日（木）、25日（水）		
講師名	【番号：18-1】と同様		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん中身抜き ・ひょうたん人形づくりの材料、工具の相談 ・加工の支援 		
実施状況 (授業風景)	 <p>「鈴木さん、持ってて。わたし、あなあけるから」</p>	 <p>「こう、2重に結ぶと、丈夫になる。やってみるかい？」</p>	
	 <p>「このひょうたん、どんなかざりにしようかな。きれいにぬりたいな」</p>	 <p>「ゆきだるまに見えた。口のところ、何度も書き直した」</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>種からここまで育てるの大変だったから、いいひょうたんかざりをつくりたいな。ここにあなをあけて、ランタンみたいにするのもいいかもしれない。鈴木さんに手伝ってもらって、ランプになる穴をたくさんあけられた。Kさんのひょうたん、ものすごくきれいにぬってある。どうやったらあんなにきれいになるのかな。そうか、3回ぬったのか。おれもきれいにぬろう。来年はもっと大きいひょうたんを作りたいな。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今年は猛暑でひょうたんの生育が思ったようにならず、苦労した。ひょうたんの中身を抜く作業は激臭になるが、鈴木さんの提案でEM菌で処理したところ、においはあるものの、においが減じた。子どもたちの「ひょうたん人形をつくりたい」という願いに寄り添った準備や支援をしていただいた。また、自然物を使った装飾も提案していただき、充実した活動となった。子どもたちも「来年もやりたい」と意欲を持った。</p>		

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校3年1組	参加人数	31人
担当者	上條 数子	記入者	上條 数子
実施日（期間）	令和5年11月7日（火）		
講師名	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎崇徳氏 他3名		
実施概要	ぬかくど釜で炊き、そのご飯をその場でおにぎりにして試食した。ご飯が炊き上がるまでの時間、お米やぬかくど釜についてのお話をさせていただき、理解を深めた。		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>①はじめに「もみがら」をお釜の中に入れました。もみがらという言葉を知った子が多かったのですが、説明を聞くと「あー、あれかあ。」と納得し、それがご飯を炊く燃料になることに驚いていました。触ってみると「乾燥した手触りがいいなあ。」と感じた子が多かったです。そして、もみがらを一人一人がお釜の中に入れました。その後点火です。本当に燃えるのかな、火事にならないかな、などと興味をもって見ていました。</p>  <p>②湯気の上がるお釜を目の前にしながら、ぬかくどの話とお米の話を聞きました。ぬかくど釜については、紙芝居にして子どもたちにも分かりやすくなるよう工夫してされていました。また、子どもたちに向けてたくさんのお話をさせていただき、子どもたちも進んで答えていたので、楽しく話を聞くことができました。その中で、お釜がとても効率がよく安全であること、燃料がもみがらなのでエコであること、今も災害のために何台か備えてあることなどを学びました。「エコである」という言葉が子どもたちの心に残ったようでした。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>③いよいよご飯が炊き上がりました。お釜の蓋を開けると、もわっとたくさんの湯気が上がり、湯気からは炊き立てのごはんのいい香りを感じることができました。塩で味付けをしてもらい、紙に包んでおにぎりにします。握らない方がおいしいと聞き、みんな大事に扱っていました。簡単におにぎりが作れるこの方法はとても良いと思いました。</p>  <p>④待ちに待った試食の時間が来ると、何人かで輪になって笑顔で食べる姿があちこちで見られました。「甘い。」「おいしい。」と自然に感想が口から発せられました。また、安曇野の地下水も用意させていただき、何杯もおかわりして飲んで</p>  </div> </div>		

	<p>いました。3時間目に入ったくらいの時間でいたが、お腹がすいたと言ってぺろりと食べていました。終わりの会では、子どもたちに感想を言ってもらいましたが、「いつものごはんよりもおいしく感じた。」と、とても満足そうでした。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるものを利用して生活にいかしていく昔の人の工夫のすごさを感じることができた。 ・お米の育つ過程やその際の苦勞、お米の種類など、いつも口にしていてるコメについて関心を深めることができた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お米は身近ではあり、普段は当たり前のもとして口にしていてるが、栽培の苦勞、種類、食べ方等知らないことも多い。そのお米を通して子どもたちは驚きをもちながら様々な体験ができ、貴重な機会となった。 ・このような活動は、準備が大変なので自分たちだけではなかなか取り組めない。今回は、多くのことを安曇野ふるさと応援団の皆様にご協力いただき、実現することができた。万全の態勢でご準備いただき、大変有難かった。

授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校4年1組	参加人数	30人
担当者	細山 ゆかり	記入者	細山 ゆかり
実施日（期間）	令和5年11月1日（水）		
講師名	寿さと山くらぶ		
実施概要	<p>1.木の授業：カラマツの切り口を見ながら年輪のでき方を学ぶ。年輪を通してわかること（木の生育、過去の気候など）を知る。</p> <p>2.バウムクーヘンづくり：バウムクーヘンづくりを通して年輪のでき方を体験する。卵を割って生地をつくり、二人ひと組で協力して楽しく焼く。</p>		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に校地内の木について説明を受けました。 ・輪切りにした杉の年輪に実際にさわりながら、年輪からわかることを教わりました。「年輪」という言葉自体になじみのない子どもがほとんどでしたが、1000年の木からは、1000年前の気候がわかるというお話に感心していました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <ul style="list-style-type: none"> ・全員が卵を割って、材料も全員で混ぜて生地を作りました。大量の生地に期待がふくらみました。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <ul style="list-style-type: none"> ・青竹に生地をつけてもらおうと、張り切って焼き始めました。教えてくださる方の指示を守りながら、ゆずり合って安全に焼くことができました。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・10歳（10層）のバウムクーヘンを自分たちで焼き上げ、青竹からはずすと、大喜びで切れ端の味見をしていました。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪が1年に1つできるのが不思議だと思いました。 ・売っているドーナツ型のバウムクーヘンは、どうやって作るのか、気になりました。 ・形がでこぼこになったところもあったけれど焼き目がきれいについて良かったです。ていねいに教えてくれたので、やけどもせずおいしくできました。 		





	<ul style="list-style-type: none"> ・最後に食べてとてもおいしかったです。ママたちにも早く食べさせたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師のみなさんが子どもたちの指導に慣れていて、楽しく安全な学習とイベントにしてくださり、たいへんありがたかった。ルールや順番を守ってお菓子作りを楽しみ、おいしく食べることができた。 ・木の生態に興味をもって聞くことができた。木の生態にさらに興味をもって学習に取り組めるように、事前に教室でやれることがあれば教えていただけると良いと思う。
--	---


環境教育支援事業実施報告書





【番号：20-2】

授 業 名	木の授業とバウムクーヘンづくり		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 特別支援学級	参加人数	25人
担当者	中澤 菜緒美	記入者	中澤 菜緒美
実施日（期間）	令和5年11月6日（月）		
講師名・実施概要	【番号：20-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>切り株を見ながら、年輪について学んだ。</p>   <p>交代で卵を割ったり、材料を混ぜたりした。</p>   <p>材料をつけた竹の両端を二人で持ち、炭の上でくるくる回しながら焼いた。</p>  <p>材料をつけた竹の両端を二人で持ち、炭の上でくるくる回しながら焼いた。 1組6～7回焼けた。</p>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年輪の話がよく分かったようで、バウムクーヘンを焼きながら「僕たちは今3歳だ。」と言っていた。 ・竹の両端を友だちと持ち、声をかけあって協力し、仲良く活動できた。 ・順番を守ったり、安全や衛生面に気をつけたりする姿が見られ、楽しい活動となった。 ・「おいしかった。」「楽しかった。」という感想を言っていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の方に上手に声をかけていただき、どの子も落ち着いて活動でき、ありがたかった。 ・子どもたちが自分から動き、生き生きとしていた。 ・準備や片付けも全部やっていただき、お世話になった。
---------------	---

授 業 名	はじめてのピザ窯体験		
学校名、学年、学級	松本市立明善小学校 特別支援学級	参加人数	7人
担当者	馬場 美穂	記入者	馬場 美穂
実施日（期間）	令和5年7月6日（木）		
講師名	NPO法人石窯スマイル研究会		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・桐原さんのピザ窯研究の話 ・火起こし ・ピザ作り ・ピザ焼き、喫食 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「囲炉裏ってあってね、そういうものは今はないでしょ。それで考えたんだ。ピザ窯がいいねってさ。」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「お兄ちゃん。火おこし、こんな感じかな」「うん。炭たすね」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>「トッピング、どれにしようかなあ、ぼく、苦手なものもあるんだよ。」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「やけたかなあ」「やけたぞ～」「おわー。チーズぐつつぐつついてる！」</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐原さんとピザを作って3年目になる。今年も会えてよかった。 ・何でピザ窯を研究しているのかを教えてもらった。大人も、そんなこと考えるんだ。 ・トッピングがいっぱいあって選ぶのが楽しかった。 ・また、みんなでピザ焼きたいな。すごくおいしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐原さんに出会って3年目になる。今年は、桐原さんの人柄に触れさせたいと考え、なぜピザ窯の研究をしているのかを教えてもらった。 ・桐原さんのピザ窯の温度がどんどん上がっていくことに、子どもたちは驚いていた。 ・自分で作ったピザも、焼き立てで格別の味だった。友だちと食べられたことも、ここ数年なかった楽しい時間だった。 		

<p>授 業 名</p>	<p>木を使って作ってみよう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立明善小学校 特別支援学級</p>	<p>参加人数</p>	<p>19人</p>
<p>担当者</p>	<p>田中 歩美</p>	<p>記入者</p>	<p>田中 歩美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年9月25日（月）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料（材木、木の実等）、道具の使い方の話 ・制作作業の支援 ・完成した作品を見合う 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「大きな木の板があるぞ」 「丸い木のパーツを使ってみようかな」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「まっすぐ切りたいな」 「よし支えてるから、がんばれ！」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「みんなの出来上がった作品を見てみよう。こっこのテーブルにみんな集まってー。」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「イメージ通りになってきたぞ、つぎは羽が動くようにしよう！」</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <p>「材料の木をみて、ドラゴンを作ろうと考えた。くぎを打って羽が動くようにしたよ」</p> <p>「ただのペン立てじゃなくて、机も作れてよかった。ぐらぐらしないようにする方法を教えてもらった。」 「まつぼっくりとか、どんぐりとかをグルーガンでいっぱいつけて、楽しかった」</p> 先生方の感想、要望等 <p>毎年、鈴木さんに来ていただき、子どもたちも、「今年は何するの?」と楽しみにしていた。今回は、みんな同じ活動ではなく、材料から自分のイメージしたものを作るということで、最初は少し戸惑う様子があったが、イメージを伝え、のこぎりやサンダーなどの道具を使う場面で支援していただきながら、それぞれオリジナルの作品をたくさん作り上げ、とても満足していた。</p> 		


<p>授 業 名</p>	<p>防災体験学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立旭町小学校4年1組 松本盲学校児童</p>	<p>参加人数</p>	<p>31人</p>
<p>担当者</p>	<p>坂口 隆子</p>	<p>記入者</p>	<p>坂口 隆子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年11月7日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>すえなみブッシュクラフトスクール 末次克洋氏</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災のタイムラインと命をまもる5つの要素（火・水・空気・シェルター・食料）についての話。 ・ 火の役割について話し合う。（調理・暖をとるなど） ・ 模擬的に机の上で新聞紙を組んでみる。 ・ 外に出て、新聞紙、ボールを用いて火起こしをし、水を入れたスチール缶でお湯を沸かしてみる。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>命を守るために必要なものは何かを出し合いました。「食料！」と答える子が多い中、末次さんから「人は体温が下がると3時間も生きていられない。」という話を聞き、命を守る5つの要素について関心を高め、話を聞きました。</p> <p>また、「火」には、どんな役割があるのかな？調理や暖をとる以外に「ここにいるよ、と相手に伝えることができる。」という意見が出てきました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>新聞紙2枚を使って、どうやってうまく火をおこし、おこした火を維持できるか、班の友だちと話し合いました。新聞紙でスチール缶の周りを覆ってみたり、新聞紙をねじって使ってみたりと、よりよい方法を探しました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>実際に外に出て、自分たちで考えた方法で着火しました。スチール缶には水を入れてあります。</p> <p>熱々のお湯を沸かし、ココアが飲めるように、火からあげるタイミングもそれぞれ考えました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>熱々のお湯を沸かすことができた子のカップをさわらせてもらいながら、「どうやったの？」と尋ねたり、「もう少し待てばよかったのか。」と自分たちの方法をふり返ったりしていました。</p> </div> </div> </div>		





	知識や技能も備えの一つであることを知り、作成している防災パンフレットにも体験したことをもとに、全校のみんなに知らせたいこととしてまとめていました。
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、食料や水が大事だと思っていたけど、末次さんの話を聞いて、体温を守ることや空気も大事なのを知ることができました。 ・命を守る5つの要素について初めて知ったので、旭町小学校のみんなにも知ってもらいたいと思いました。防災パンフレットにものせようと思います。 ・初めは、新聞紙2まいだけで火を起こしたり、お湯をわかしたりすることなんてできないと思っていたけど、思っていたよりも早くお湯をわかせておどろきました。お湯がぬるかったので、次はもう少し待ちたいと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>社会科で自然災害（地震）について学ぶ中で、防災を楽しみながら学べないかと、すえなみブッシュクラフトスクールさんに相談したところ、命を守る5つの要素についてのお話や、火起こし体験をさせていただくことができました。末次さんから、「失敗も大切な学びであること、失敗することで次はどうすればよいかと考えられること」を教えていただき、子どもたちが失敗をおそれず、自由な発想で火起こしの方法を考え、楽しみながら防災学習をすることができました。</p>

環境教育支援事業実施報告書

【番号：23-2】

授業名	防災体験学習		
学校名、学年、学級	松本市立旭町小学校4年2組	参加人数	25人
担当者	沖 拓実	記入者	沖 拓実
実施日（期間）	令和5年11月7日（火）		
講師名・実施概要	【番号：23-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	 	<p>「自分一人で生き残るために、まず大事な物はなんだろう」ということを考えました。子どもたちは「水や食料が一番！」と考えている子が多かったですが、「水や食料だけでなく、体温などもっと大切なものもある。」という話を聞き、命を守る5大要素について勉強をしたり、災害から自分の身を守るためには、災害が起きてから行動に移すのではなく、日ごろから準備や心構えをしていることが大切であるということを学んだりしました。</p>	

	 <p>グループに分かれ、空き缶、ボウル、新聞紙、マッチを使って、お湯を沸かすという体験をしました。グループで、どうすれば水を熱湯にすることができるか新聞紙をちぎってつめこんでみたり、ねじって空き缶に巻いてみたりと子どもたち同士で議論しながら試行錯誤をしていました。マッチで火をつけて新聞紙が燃え尽きるまで見守り、沸かしたお湯でココアやホットレモンでお楽しみをしました。「ぬるかった・・・」と「水からあったかいお湯になった!」と様々な結果になりました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を守る5つの要素は初めて知った。水や食料以外に体温なども命を守るうえでは大事なのだということが知れて良かった。 ・新聞紙を細かくちぎりすぎて、すぐに燃え尽きてしまった。水が温まりきらなかったので、違う方法も試してみたいと思った。 ・自分の身を守るためのポイントなどを学ぶことができた。今日学んだことを、いろんな人にも伝えていきたいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>末次さんが講義の中で大切にされていた「失敗なんてものはない。そのやり方ではうまくいかないということが分かり、それも学びである。」という考え方がとてもステキだなと感じました。その言葉があったおかげで子どもたちものびのびとお湯の沸かし方を探る活動することができました。私自身もこの「失敗なんてものはない」という考え方を大切にしていきたいと思いました。</p>

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り		
学校名、学年、学級	松本市立旭町小学校1～6年 自・情障学級	参加人数	22人+保護者
担当者	布川 勤・田中 みどり・堺 幸子	記入者	堺 幸子
実施日（期間）	令和5年11月28日（火）		
講師名	寿さと山くらぶ 代表 鈴木氏 他1名		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の樹木や年輪の話聞くことを通して、自分たちの成長について学んだ。 ・木の年輪のように生地を何層も重ねて焼き、おいしいお菓子を自分たちで作った。 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>年輪の話をお聞きしている様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卵を割っている様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生地を作っている様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バウムクーヘンを焼いている様子</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘンづくりが大変だったけれど、楽しかった。 ・上手に焼けてうれしかった。 ・おいしく焼けるか心配だったけれど、食べてみたらおいしく焼けてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候が不安定な状況の中ではあったが、風向きなどを考慮しアドバイスをいただいたことで、実施場所の変更を行い安全に活動することができた。 ・保護者も一緒に活動に参加できたので、充実した活動ができた。 ・講師の先生が一人ひとりに声をかけてくれたので、生き生きと活動することができていたと思う。 ・私たちの身近にある木についての学びを深めたり自分たちの手でバウムクーヘンを作ったり、普段ではできない学びや体験をすることができ、ありがたかった。 		

授 業 名	体験 体感 外あそび		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年1組	参加人数	35人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和5年11月6日（月）		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡光幸氏		
実施概要	①アイスブレイクゲーム ②ネイチャーゲームと火おこし体験 ③自然を大切に 人の一生と火の一生(講義) ④燻製の試食		
実施状況 (授業風景)	①アイスブレイクゲーム ②ネイチャーゲーム ○フラフープを使いどのチームが一番早く地面につけるか、手をつないだままフラフープをくぐらせることができるかなどをして友だちと協力することの楽しさを体験した。 ○目隠しをして前の友達につながって歩く遊びを行った。 ○竹馬の森の中や岩石園を歩き回り、最後にアルプスの山を向いて目隠しを取り自然を味わった。 ○自然界のもの(葉、木の匂い、虫など)を見つける活動をした。 ③自然を大切に 人の一生と火の一生(講義) ○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。 ④火おこし体験 ○火おこしの道具を使い、摩擦の力を利用して、火をおこす体験をした。 ⑤燻製の試食		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・私たちは形が整った道具で火を起こしたけれど、昔の人は形が整っていないものを使っていたのですごいと思った。災害が起こった時に今日覚えたことを利用できたらいいなと思った。 ・ゲームでは、いつもあまり気にしないで木を見ていたけれど、いろいろな		



	<p>特徴を探すと、木の葉はこんなにおいがるなどがわかり楽しかったので、ほかの森などに行った時も探してみたいと思った。</p> <p>・いつも遊んでいない友だちと最寄り仲が深められたと思う。またやりたい。6年になった時、低学年との交流で生かしてみたい。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今年度の総合の時間は、竹馬の森を始め校内の樹木調査を行っているので、慣れ親しんだ森での活動は、興味を持ち意欲的に取り組める活動となった。また、火起こし体験は、実際に行ってみるとなかなか火がつかずに苦労したが、周りの友達がコツを教えたり、手伝ったり、頑張っている友達を応援したりと、友達関係を深めていくきっかけにもなった。</p>
--	--

環境教育支援事業実施報告書





【番号：25-2】





授業名	体験 体感 外あそび		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校5年2組	参加人数	37人
担当者	窪田 和哉	記入者	窪田 和哉
実施日(期間)	令和5年12月15日(金)		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡光幸氏		
実施概要	<p>①ネイチャーゲームと火おこし体験</p> <p>②自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p> <p>③燻製の試食</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>①ネイチャーゲーム</p> <p>○目隠しをして前の友達につながって歩く遊びを行った。</p> <p>○竹馬の森の中や岩石園を歩き回り、最後にアルプスの山を向いて目隠しを取り自然を味わった。その後自分たちの歩いてきたルートを確認しながら、感じたことと照らし合わせていた。</p> <p>○自然界のもの(葉、木の匂い、虫など)を見つける活動をした。</p> <p>③自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p> <p>○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</p> <p>④火おこし体験</p> <p>○火おこしの道具を使い、摩擦の力を利用して、火をおこす体験をした。</p> <p>⑤燻製の試食</p>		



<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目が見えない状態で歩くと、いろんな葉っぱの感触や足の裏の感覚が、急にきて驚いた。後で見返したら予想外の場所を歩いていて驚いた。 ・いつも当たり前と思っていた木にも、くしゃくしゃにして匂いを嗅いでみると、いろんな匂いがして面白かった。 ・いつも簡単に使っている火を、昔の人がやっていたやり方で火を起こしてみても、とても大変で昔の人の工夫や大変さがわかった。自分の力で火をつけることができてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今年度の総合の時間は、ピザをゼロから作っていく活動を行ってきた。その際に火も最初からということで、火おこしについて教えていただいた。悪条件の中でもしっかりとつけることができ、子どもも火をおこす大変さを感じると同時に、火おこしの原理や、実際に自分の手で火をつける感動を味わっていた。実際の体験は子どもたちにより大きな感動としてたくさん学びがあったように感じました。</p>
---------------	---

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校2年1組	参加人数	30人
担当者	西村 尚子	記入者	西村 尚子
実施日（期間）	令和5年8月28日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他3名		
実施概要	水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 ライフジャケットを着用しての水浮かび体験		
実施状況 (授業風景)	<p>水の流れの特徴や気を付けることを教えてもらったよ。</p>  <p>なにかいるぞ！</p>  <p>どんな生き物が見つかったのかな。</p>  <p>ぷかぷか浮いて、気持ちいいなあ。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物がたくさんいて、びっくりした。 ・ぷかぷか浮くことができ、楽しかった。 ・山から海に流れていく途中の川を大切にしくちやいけないと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>川の楽しさだけでなく、危険なところも併せて、わかりやすくお話ししていただけて、子どもたちの川に対する関心も高まったような気がしました。身近にある川をより知っていけるように、また学習にも取り入れていきたいと思えます。</p>		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校4年1組	参加人数	22人
担当者	白井 彩音	記入者	白井 彩音
実施日（期間）	令和5年8月28日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他3名		
実施概要	水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 ライフジャケットを着用しての水浮かび体験		
実施状況 (授業風景)	<p>水の流れの特徴や気を付けることを教えてもらいました</p>  <p>生き物がたくさんとれた</p>  <p>生き物をさがしてみよう</p>  <p>安全な流れ方を学ぼう</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジカなどの水中生物がたくさんとれてうれしかった。 ・川の安全な遊び方や流され方などを知って勉強になった。 ・山から海に流れていく途中の川を大切にしないといけないと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>川の楽しさだけでなく、危険なところも併せて、わかりやすくお話ししていただけて、子どもたちの川に対する関心も高まったような気がしました。身近にある川をより知っていけるように、また学習にも取り入れていきたいと思えます。</p>		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校4年2組	参加人数	22人
担当者	浦 嘉宏	記入者	浦 嘉宏
実施日（期間）	令和5年8月28日（月）		
講師名・実施概要	【番号：27-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<p>水の流の特徴や気を付けることを教えてもらいました</p>  <p>美ヶ原からこの水は流れてくるんだよ</p>  <p>生き物をさがしてみよう</p>  <p>安全な流れ方を学ぼう</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジカなどの水中生物がたくさんとれてうれしかった。 ・川の安全な遊び方や流され方などを知って勉強になった。 ・山から海に流れていく途中の川を大切にしくちやいけないと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>川の楽しさだけでなく、危険なところも併せて、わかりやすくお話ししていただけて、子どもたちの川に対する関心も高まったような気がしました。身近にある川をより知っていけるように、また学習にも取り入れていきたいと思ひます。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>いきもの探しと自然観察及び環境教育講座</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校3年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>34人</p>
<p>担当者</p>	<p>藤澤 美砂</p>	<p>記入者</p>	<p>藤澤 美砂</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年10月11日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>いきものみっけファーム in 松本推進協議会 藤村哲氏、清沢るり子氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>あがたの森公園で身近な植物や生き物を見つけたり観察したりした。自然と触れ合い、自然のよさや大切さを感じるアクティビティ（ネイチャーBINGOやシカゲーム）をした。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>あれは何の木？ チョウが来るんだって 特徴のある樹木や葉などを教えて もらいました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>石の上で休んでいるカモの様子を見よう 野鳥の様子を間近に見ることができ、大喜びで した</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>BINGOに挑戦！かわいいもの…？ 五感を働かせ思い思いに当てはまるものを 探しました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シカゲームでシカの生きやすさを 学ぼう 楽しいゲームを通して環境について 考えました</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく遊びに来ている公園なのに、名前を知らない木や植物がたくさんあってびっくりした。 ・甘くていい匂いのする葉を知れてうれしい。家族にも教えたい。 ・どんぐり以外にも実のなる木がたくさんあった。また、探しに来たい。 ・BINGOで選ぶものが人によって違った。それがいいなと思った。 ・シカは食べ物と住むところと仲間（繁殖の相手）がいなくて生きていけない、自然が壊れたら大変だと思った。 ・やっぱりこの公園はいいところだと思って、もっと好きになった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく見たり、触ったり、匂いを嗅いだりして、様々な樹木を観察できました。カツラの葉の香りが特に気に入った様子で、その後も拾い集めてきてはみんなで嗅いでいます。 		

	<ul style="list-style-type: none">・身近な場所でありながら、知らないことや普段体験できないことを教えていただいた貴重な機会でした。身の回りの動植物を大切にしていこうとする気持ちにつながっていくことと思います。・安全面に十分配慮いただき、時間内に学習がスムーズに進むよう打ち合わせからお考えいただき、心より感謝申し上げます。
--	---


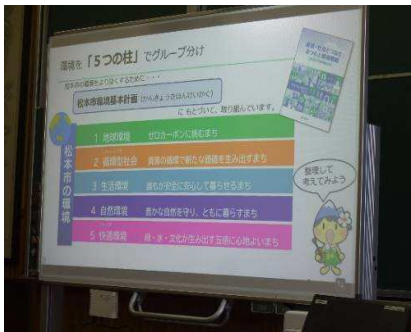

授 業 名	自然観察会		
学校名、学年、学級	松本市立今井小学校1年1組	参加人数	31人
担当者	中島 雅也	記入者	中島 雅也
実施日（期間）	令和5年9月21日（木）		
講師名	自然観察の会ひこばえ 村上さよこ氏、百瀬ちゆき氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・宝物集め ・モグラ塚 ・ちょうちよの話 ・宝物紹介タイム ・木の実移しリレーゲーム ・野鳥の話 ・自由散策 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「宝物探し」にて、野鳥の羽を見つけた子どもたち。その羽が何の羽なのか、野鳥図鑑を使って調べているところ。学習公園には、どんな鳥がやってくるのか興味津々な子どもたちは、図鑑と羽を見比べ、考えていた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>学校のカラタチの木で、アゲハチョウの幼虫を見つけ育てている子どもたち。たまごから成虫になるまでに、どんどん数を減らしていくことを知って驚いていた。自然界における食物連鎖のことも学ぶことができた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「木の実移しリレーゲーム」では、いろいろな木の実の名前や特徴を教えてもらった。木の実をスプーンですくって移す時に、「これは、クルミだ。」等、木の実の名前を言いながらゲームを楽しむ様子が見られた。中には、小動物がかじったと思われる実もあり、説明を聞くことで、木の実から植物や生き物へ思いを寄せる子どもたちの姿があった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ちょうちよの話を聞いたあと、学習公園でつかまえたちょうちよが何なのかちょうちよの図鑑を使って調べている子どもたち。プレゼントしてもらったルリタテハの幼虫のことも調べていた。食草についても教えてもらい、さらに興味をもっていた。</p> </div> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝物集めが楽しかった。 ・学習公園には、どんな鳥がくるのか見つけてみたい。 		

	<ul style="list-style-type: none">・ちょうちよが生まれてから、大人になるまでに、少しの数しか生きられないことがわかった。ちょうちよは、好き嫌いがはっきりしていて、きまった葉っぱしか食べないことがわかった。・モグラが住んでいることがわかった。・いろいろな木の実のことが知れてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none">・発見がいっぱい！感動がいっぱい！わくわくがいっぱい！未知が既知になり、既知が思考基地に！感じることにプラスして知ることで、子どもたちの対象に対する見方が変わったことを感じました。
--	---

授 業 名	水殿ダムラフトピクニック		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校5・6年	参加人数	4人
担当者	近藤 陽子	記入者	近藤 陽子
実施日（期間）	令和5年6月28日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・水殿ダム湖でのラフティング体験、サップ体験 ・ダムの成り立ちや役割の学習 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ラフティングについての講習</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ボートを漕いで ダム湖の真ん中まで行きました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初めてのサップ体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バランスを取って 流木に乗れるか挑戦しました</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムって入れる所じゃないと思っていたから、あんなに楽しく遊べるってすごいなあと思いました。できるならもっと遊んでいたかったです。自然の中で思いっきり楽しめてよかったです。 ・ダムはなんでできたんだろう、川のままだがよかったのと思っていたけれど、ダムの役割について知って、ダム湖で楽しく遊んで、ダムのことが好きになりました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>ダム湖で遊ぶというめったにできない本当に貴重な経験ができました。ダムの成り立ちや役割を学ぶとともに、川での安全な遊び方や楽しみ方を教えていただきました。ダム湖でラフティングやサップを楽しんだり、ダム湖に飛び込んだり、思いっきり自然と触れ合い、子どもたちは大満足の様子でした。スタッフの皆さんには、安全に配慮しながら、子どもたちが自ら自然と関わろうとする姿を大切にしてサポートしていただきました。自然を十分に体感することは、自然に関心を持ち、自然を大切にする意識につながっていくと感じました。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>木について学ぼう～木の年輪バウムクーヘン作り～</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立四賀小学校3年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>26人</p>
<p>担当者</p>	<p>村石 真理子</p>	<p>記入者</p>	<p>村石 真理子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年11月14日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎氏 他2名</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木と環境についての関わりや樹木の生長の仕方と年輪についてお話を聞いた。 ・樹木の年輪に例えたバウムクーヘンを作り、森林についての理解を深めた。 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>年輪をみると木の年が数えられます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>この年は寒くて生長がおそかったという事かな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>何回も焼くと、年輪みたいにバウムクーヘンが大きくなっていくね</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>美味しそう！本物の木の切り株みたい</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・木に年輪があって年輪を見ればその木が何歳か分かると初めて知って驚いた。 ・木は汚い空気を吸ってくれて、きれいな空気を出してくれると知った。四賀には自然がたくさんあるので、四賀はいいところだなと思った。 ・バウムクーヘン作りがとても楽しかった。友達と一緒に協力して上手に作ることができてうれしかった。先生がやさしく教えてくれてうれしかった。 ・家に帰って今日学習したことをお家の人に話したいと思った。 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・木の年輪のでき方や年輪から分かることについて講師の方が3年生の児童に分かりやすく教えてくださり、身近な自然の神秘を児童は感じていました。また、自分たちが暮らしている四賀の自然の素晴らしさに気づき、ふるさとの自然や環境を大切にしようとする意識が芽生えていたようでした。 		





	<p>・バウムクーヘン作りでは、作り方の説明や作業の手順が児童にとって分かりやすかったため、児童が落ち着いて上手にバウムクーヘンを作ることができ、満足感を得ることができました。また、衛生面や安全面にも大変配慮をしていただき、腹痛や火傷をすることがなく作ることができ、たいへんありがたかったです。</p>
--	---

<p>授 業 名</p>	<p>まつもとの環境について学ぼう（松本市環境基本計画関連講座）</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校4年</p>	<p>参加人数</p>	<p>44人</p>
<p>担当者</p>	<p>浦 嘉宏</p>	<p>記入者</p>	<p>浦 嘉宏</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年9月27日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>松本市環境・地域エネルギー課</p>		
<p>実施概要</p>	<p>松本市環境基本計画について 松本市の環境とは</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>松本市の環境基本計画について 教えてもらいました</p>  <p>松本市の「5つの柱」</p>  <p>自分たちでできることを考えよう</p> 		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を守っていくために、近くの買い物は歩いて行く、ご飯を残さずに食べる、必要かどうか考えてから買う、地域の清掃活動に参加する、街を歩いて身近な環境を知る…など、自分たちにもできそうな事がたくさんあることがわかった。 ・これからも環境を大切にしていきたいと思った <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>行政も環境を守るために様々な施策を実施していることがわかった。この学習をてがかりに総合的な学習の時間の種を見つけることができそうだった。もう少し早い時期に実施すればよかった。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>水辺の生物の観察会</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校4年1組</p>	<p>参加人数</p>	<p>22人</p>
<p>担当者</p>	<p>白井 彩音</p>	<p>記入者</p>	<p>白井 彩音</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年8月24日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>川の自然と文化研究所 美馬氏、山本氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 学校のビオトープの生き物採集 生き物の分類・観察</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>川の安全な入り方について 教えてもらいました</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>生き物をつかまえよう</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>生き物を分類しよう</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>よく見て生き物の特徴を知ろう</p>  </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・カジカなどの水中生物がたくさんとれてうれしかった。 ・初めてみる生き物もいて、いろんな生き物の名前を憶えられた。 ・薄川がとてもきれいな川だとわかった。これからも大切にしていきたいと思った。 2 先生方の感想、要望等 <p>身近な薄川にたくさんの生き物があることがわかって、薄川がより身近になりました。生き物を捕まえるなどの川の楽しさを味わうとともに、安全な楽しみ方を教えていただき、大変勉強になりました。学校職員だけではなく行えない活動が実施できてありがたかったです。</p> 		

<p>授 業 名</p>	<p>水辺の生物の観察会</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校4年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>22人</p>
<p>担当者</p>	<p>浦 嘉宏</p>	<p>記入者</p>	<p>浦 嘉宏</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年8月24日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>松本ホテル学会 藤山氏、横山氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 学校のビオトープの生き物採集 生き物の分類・観察</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>川の安全な入り方について 教えてもらいました</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>生き物をつかまえよう</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>生き物を分類しよう</p>  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>よく見て観察しよう</p>  </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジカなどの水中生物がたくさんとれてうれしかった。 ・初めてみる生き物もいて、いろんな生き物の名前を憶えられた。 ・薄川がとてもきれいな川だとわかった。これからも大切にしていきたいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>身近な薄川にたくさんの生き物があることがわかって、薄川がより身近になりました。生き物を捕まえるなどの川の楽しさを味わうとともに、安全な楽しみ方を教えていただき、大変勉強になりました。学校職員だけではなかなか行えない活動が実施できてありがたかったです。</p>		

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立源池小学校 特別支援級合同	参加人数	30人
担当者	吉嶋 哲男	記入者	吉嶋 哲男
実施日（期間）	令和5年8月28日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他3名		
実施概要	水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 ライフジャケットを着用しての水浮かび体験		
実施状況 (授業風景)	<p>川には楽しさと危なさがあるんだね。 川の生き物を見つけてみよう！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ぶかぶか浮いて、気持ちいいなあ。</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>こんなに生き物が見つかったよ。</p>  </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の近くの川に、生き物がたくさんいて、びっくりした。 ・カジカが4匹もとれて、うれしかった。食べてみたいな ・ぶかぶか浮かぶのが、楽しくて、気持ちよかった。 ・川を大切に、また遊んでみたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の楽しさだけでなく、危険なところもあわせて、わかりやすくお話ししてくださり、ありがたかったです。 ・身近な川も楽しさや生き物もたくさん住む素晴らしさなどを、体感的に教えていただき感謝です。来年以降もぜひやってみたいです。 		




<p>授 業 名</p>	<p>石窯でピザづくりたいけん</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立源池小学校 特別支援級合同</p>	<p>参加人数</p>	<p>18人</p>
<p>担当者</p>	<p>豊口 敦子・吉嶋 哲男</p>	<p>記入者</p>	<p>吉嶋 哲男</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年10月20日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>NPO法人石窯スマイル研究会 桐原氏 他3名</p>		
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・石窯の話を聞こう ・ピザを作って、石窯で焼いて食べよう ・ピザのことや石窯のことなどについて質問してみよう 		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>今日はこの石窯でピザを焼くんだね。好きな材料で自由にトッピング。</p>   <p>美味しそうにピザが焼きあがったぞ。めちゃめちゃ美味しいよ、このピザ。</p>  		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> ・重いレンガをたくさん使って石窯を作っているなんて、すごいなあ。 ・今まで食べたピザの中で一番おいしかった。さすが、石窯ですね。 ・できれば、もう一度やってみたい。石窯がお家があればいいのに。 2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・ピザのトッピングなど、子どもたちが無理なくできることを優しく教えてください、とても楽しく学習ができました。ありがとうございました。 ・石窯の遠赤外線の効果なのか、本当に美味しいピザをいただくことができ、子ども以上に楽しく美味しい気分が味わえました。 ・来年以降も、ぜひまたやってみたいです。 		




<p>授 業 名</p>	<p>地元の川大好き！リバーアドベンチャー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立清水小学校2年</p>	<p>参加人数</p>	<p>107人</p>
<p>担当者</p>	<p>村澤 薫</p>	<p>記入者</p>	<p>村澤 薫</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年8月30日（水）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>		
<p>実施概要</p>	<p>虫の探し方、川の危険と楽しさを知る。 自分たちの地元の楽しいもの、魅力を知る。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>ライフジャケットとヘルメットを着用し、川の安全についてのお話を聞きました。川の流ればどこでも同じではないことや、泡が出て白くなっているところは沈みやすいから気を付けることなど、実際にペットボトルを浮かべて動きを見ながら、川で遊ぶ際に気を付けることを教えていただきました。真剣に聞くことができました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>生き物の捕まえ方を教えていただき、生き物探しをしました。一人一つずつ網をもらって、生き物探しをしました。石を動かして網を入れてすくいました。見つけるのはなかなか難しかったですが、中には、「かじか」や「あぶらはや」を捕まえることができた子もいました。時間いっぱいがんばって探して楽しみました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>浮き方を教えていただき、ぶかぶか川を下りました。浮き方のコツをつかむと川の流れにのる感覚を楽しみました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>最後に腕を大きく広げ、空を見ながら浮かびました。みんなとても気持ち良さそうに浮いていました。</p> </div> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しかった！」「3年生でもやる？」「またやりたい！」と満足そうでした。 ・プカプカうくのが楽しかったです。またリトルピークスの人たちに教えてもらってやりたいです。これからも川には気をつけてあそびたいです。 		




- ・川は流れていくけど、端にいくと戻されることが分かってよかったです。川は、危いけど楽しかったです。
- ・なかなか虫がつかまえられなかったけど、リトルピークスの人や、友だちがつかまえた虫を見て、今度はつかまえたいなと思いました。
- ・最初、リトルピークスの小峰さんのお話で、川の危険や、浮き方や、虫のとり方を知ることができました。
- ・浮かぶのがドキドキしたけど、浮いてみると、気持ちがよくて楽しかったです。空にういているみたいでした。
- ・川はきれいな水だと聞いてよかったです。きれいな水だからお魚もいっぱいいる川なんだなあとと思いました。
- ・川であそんでみて、川の知らなかったことも知れてたのしかったです。

2 先生方の感想、要望等

- ・リトルピークスの方が手厚く見てくださって、安全に川遊びができて、ありがたかったです。
- ・川の魅力、地元を大切に思っている思い、環境面など幅広く子どもたちにお話しいただき、ありがたかったです。
- ・魚や虫の探し方、住んでいる生き物による川の綺麗さが分かる指標、川の流れによって浮く体験などたくさんを教えてくださいありがとうございました。
- ・普段、なかなか川で遊ぶという機会が無い子どもたちだと思いますが、身近にある川で楽しく遊ぶ体験ができたことがとてもよかったですと思います。
- ・川の楽しさの反面、危険な面や気を付けなければいけない面も実際の現場で知ることができてよかったですと思います。
- ・身近に、こういったきれいな川があり、そこで遊んだり、生き物と触れ合ったりできることを知ることができ、子どもたちの財産になったと思います。たいへんお世話になり、ありがとうございました。

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校2年1組	参加人数	32人
担当者	坂元 美波	記入者	坂元 美波
実施日（期間）	令和5年7月11日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	女鳥羽川に行き、水辺の安全学習及び川遊び・川の生き物探し ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。		
実施状況 (授業風景)	 <p>〈川の安全講習〉 川でおぼれないために大切なことを教えてもらいました。</p>	 <p>〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり草むらをガサガサ動かしたりして出てきた虫を捕まえました。たくさんの種類の虫を捕まえることができました。</p>	 <p>〈ぶかぶか浮いてみよう〉 ライフジャケットを着た状態で、川の流に身を任せて流れてみました。実際川に流されてしまったときは泳ごうとはせず、流されることが命を守る最善の方法だと教えていただきました。</p>
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・川の危険や深さのことが分かった。どうやったら命は守れるかという大切なことを教えてもらえてよかった。 ・浮くのが最初は怖かったけど、やってみたら楽しかった。 ・生き物をたくさん見つけられてよかった。大切に育てたい。 ・とっても楽しくて時間が足りない。またやりたい。		
	2 先生方の感想、要望等 最初は怖がっていた子もいましたが、だんだん楽しさがわかって「もっとやりたい。」「もう一回。」と大喜びでした。「川の生き物探し」では、短い時間に様々な生き物を見つけることができ、こちらも大喜びの子どもたちでした。本物に触れるということはやはり大切だと感じました。		

<p>授業名</p>	<p>川であそぼう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立開智小学校2年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>33人</p>
<p>担当者</p>	<p>佐々木 笙</p>	<p>記入者</p>	<p>佐々木 笙</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年7月11日（火）</p>		
<p>講師名・実施概要</p>	<p>【番号：37-1】と同様</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><水辺の安全講習> 自然の川と比べて人間が手を入れた川の方が危険であることを、ペットボトルを使った実験で教えていただきました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><川の生き物とり> 子どもたち一人ひとりが網をもって生き物を捕ったり、観察したりしました。捕った生き物の中から、ヤゴとエビを持って帰らせてもらいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><ライフジャケットを着て流れてみる> ライフジャケットを着た状態で川の流れに身を任せて流れてみました。実際川に流されてしまったときは泳ごうとはせずに流されることが命を守る最善の方法だと教えていただきました。</p> </div> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泡のところに行ってはいけないということを知ることができてよかった。 ・浮いて流されるのが、最初は怖かったけど、だんだんと楽しくなった。 ・生き物探して、ヤゴやエビをたくさん捕まえることができて嬉しい。教室で大切に飼いたい。 ・これからは、女鳥羽川でたくさん遊びたい。 ・もっといろんな種類の生き物を川で見つけて捕まえたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初は川に足を踏み入れることも恐る恐るだった子どもたちも、ラッコのように浮かんだり生き物を探したりする中で、楽しさを実感していました。最後の方には、「時間があっという間に過ぎちゃった。」「もっとやりたい！」と川の魅力を感じていました。</p> <p>また、「またお家の人を連れて川で遊びたいけど、泡のところは危ないから近づかないように気をつけたい。」という声もあって、川での危険性も正しく学び取ることができている様子も見られました。</p> <p>子どもたちが、身近にある自然について、体験を交えながら深い学びを得ることができたのはリトルピークスの方々のおかげです。ありがとうございました。</p>		

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	松本市立開智小学校2年3組	参加人数	31人
担当者	大畑 幸亮	記入者	大畑 幸亮
実施日（期間）	令和5年7月11日（火）		
講師名・実施概要	【番号：37-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>〈川の安全講習〉 川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えていただきました。</p>  <p>〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビ、魚など、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。</p>  <p>〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮いて、とても楽しんでいました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川がますます大好きになった。けれど、川の危険さも分かったので、泡のところに飛び込むことは絶対にしないで、気をつけて遊びたい。 ・思ったよりいろいろな生き物がいて、驚いた。見つけた生き物を大切に育てていきたい。 ・ライフジャケットのおかげで、浮くのがとても楽しかった。もっと体験したくなった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>暑さ、現地までの距離がありましたが、体験が始まると、楽しさを実感し活動にのめりこんでいる子どもたちでした。「もっとやりたい!」という声がたくさん聞かれ、自然の中での体験を楽しむことができました。地元の川や自然がますます好きになったように感じます。</p> <p>学校職員だけでは体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の1時間になりました。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校3年</p>	<p>参加人数</p>	<p>137人</p>
<p>担当者</p>	<p>押野 寛明</p>	<p>記入者</p>	<p>押野 寛明</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年7月18日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰邦良氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>上高地源流見学に向けての事前学習を兼ねて実施した。 梓川の源流の一滴が、梓川、犀川、千曲川、信濃川と名前を変えながら、海に注いでいる。 波田の川のごみが、海洋汚染にもつながっていることを知った。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槍ヶ岳などの梓川の上流の山々に降った雨や雪の一滴一滴が集まり、梓川となる。 ・ダムを作ることで自然は壊されてしまうが、これも人にとっては必要なもの。洪水が起きても困る。梓川の水が、いろいろなものに使われて、人々の役に立っている。 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梓川がどんどん大きくなり、流れ下る。奈良井川と合流して犀川となる。 犀川は、千曲川と合流して千曲川となる。県境を越えると信濃川となる。そして最後に日本海へ流れ込む。 <p>・この辺りまで、鮭が海から上ってきて産卵をしていた。今は、ダムによってそれができない。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梓川は、みんなの暮らしや文化としっかりつながっている。九州の阿曇族がここまで来たという。 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梓川の水により、農作物がとれる。キノコなど山菜がとれる。自然の恵みをたくさんいただいている。ところが、人間はゴミを捨てて汚してしまう。人工物を作って自然を壊してしまう。しかし、ダムも人々にとって必要である。上流に住む私たちは、川をきれいにして、下流の人に渡そう。海の生物が、人間の捨てたゴミにより死んでしまうこともある。考えていかなければならない。 </div> </div> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川は、北アルプスのたくさんの川が合わさって流れてきていることを知った。槍ヶ岳にある梓川の源流を見たい。 ・ 梓川では、昔は波田のあたりまでサケが上ってきていたけれど、ダムができて捕れなくなったとは知らなかった。 ・ 梓川の水が少ないのも、ダムが造られていろいろなことに使われているとわかった。水も、なければ困るし、洪水になっても困る。 ・ ごみが川に入ると、海にまで流れていってしまう。自分たちが捨てたごみで、海の生き物が死んでいるかもしれない。特にプラスチックのごみを川や海に捨てないようにしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 梓川の源流と流れつくのが海であるというだけでなく、川が私たちの生活と密接に結びついていること、川の恩恵を受けている一方で、私たちが、川を汚すことによって海の生物にまで害を及ぼしていることが分かり、川を汚さないでおこうという意欲をもつことができた。
---------------	---

授 業 名	上高地から流れる梓川の水利用と探検学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3年1組	参加人数	34人
担当者	杓掛 恵子	記入者	杓掛 恵子
実施日（期間）	令和5年9月29日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏 他7名		
実施概要	梓川の源流と同等な支流の上高地清水川やその源流部分や水殿ダムの見学を通して、身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。また、同じ川でも、それぞれの場所で、流れや水の色、ゴミの有無、水温などに違いがあることに気づき、梓川への愛着を深め、環境保全の意識を高める。		
実施状況 (授業風景)		<p>説明</p> <p>水殿ダム。ダムの深さや使用目的などの説明を受けたり、ダムの施設やダム全景を見たりしながら、メモやスケッチをしている。</p>	
		<p>説明</p> <p>ウェストン碑近くの梓川の川原。川や川原の様子の観察を行う。川の流れの中に魚や水生昆虫などを見つけていた。</p>	
		<p>説明</p> <p>犀川の支流・清水川について説明を受け、源流の清らかさや水の冷たさを体感している。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水殿ダムの役割（農業用水、飲料水、防災、発電）が分かってよかった。 ・ダムの水は、緑色だった。汚くてよくない。なぜ、ダムにゴミや木があるのか。 ・水がおいしい。イワナもいて自然だ。 ・清水川が6℃、梓川は18℃、12℃もちがっていた。 ・波田の梓川は、にごっていた。上高地の梓川や清水川は、すんでいてきれい。 ・梓川をきれいに、大事にしたい。 ・ゴミをすてないようにしたい。 ・梓川の川原をもっと過ごしやすくしたい。川原でもっとすごしたい。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に上高地の自然や源流に触れることで、自然の尊さに気づき、地域の梓川や自然を大切にしようとする気持ちを高めることができた。大変有意義な体験だった。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：39-2】

授業名	上高地から流れる梓川の水利用と探検学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3年2組	参加人数	34人
担当者	玉井 泉	記入者	玉井 泉
実施日(期間)	令和5年9月29日(金)		
講師名・実施概要	【番号：39-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	 <p>説明 水殿ダム。ダムの深さや使用目的などの説明を受けたり、ダムの施設やダム全景を見たりしながら、メモやスケッチをしている。</p>  <p>説明 ウェストン碑近くの梓川の川原。川や川原の様子を観察を行う。 川の流れの中に魚や水生昆虫などを見つけていた。</p>  <p>説明 犀川の支流・清水川について説明を受け、源流の清らかさや水の冷たさを体感している。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムを初めて見た。ただ水をためるだけでなく、いろいろな役目があることを初めて知った。 ・ダムがあると魚が通れないから、自然にはちょっといけない。 ・上高地の梓川は水が青っぽく見えてすごくきれいだった。青く見えるのは下の石の種類のおかげだと教えてもらった。 ・川の水は触るとすごく冷たかった。 ・岩魚もいてすごくきれいな水だと分かった。 ・清水川の水が飲めてびっくりした。梅花藻が生えているところはすごくき 		

	<p>れいな水だと教えてもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清水川の水を持ち帰って家でご飯を炊くことに使った。 ・梓川がずっときれいなようにごみとかを捨てないようにしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>子供たちは地域を流れる梓川が上高地からつながっていることにまず驚きを感じていた。実際に訪れることで上流と波田周辺では川の様子にさまざまな違いがあることを感じる事ができた。また、この自然豊かな環境を大切にしたいという意識も持っていた。</p>
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：39-3】

授業名	上高地から流れる梓川の水利用と探険学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3年3組	参加人数	35人
担当者	押野 寛明	記入者	押野 寛明
実施日（期間）	令和5年9月29日（金）		
講師名・実施概要	【番号：39-1】と同様		
実施状況 （授業風景）	 <p>説明 水殿ダム。ダムの深さや使用目的などの説明を受けたり、ダムの施設やダム全景を見たりしながら、メモやスケッチをしている。</p>		
	 <p>説明 ウェストン碑近くの梓川の川原。川や川原の様子を観察を行う。 川の流れの中に魚や水生昆虫などを見つけていた。</p>		
	 <p>説明 犀川の支流・清水川について説明を受け、源流の清らかさや水の冷たさを体感している。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムの水は緑色だった。ダムの底の方は水温が低くて、魚も住めないことを知った。 ・ダムをつくることは自然を壊すことになるけれど、水殿ダムがあることで下流の波田が洪水などから守られていることがわかった。電気を作る、田 		



	<p>畑に使われるなど、梓川の水がいろいろに使われていることがわかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の前を流れている水が、60年前の雨などが湧き出てくるのはすごいこと。 ・波田の梓川の水は17℃、清水川は7℃で、温度の違いに驚いた。源流は、水が冷たくて、透き通ってきれいだった。 ・バスから見た梓川の上流は、大きな石がごろごろしていた。川幅も狭かった。 ・上高地の河原の石の種類は、波田の河原の石と同じだった。 ・海まで流れていってしまうので、ゴミをすてないようにしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梓川を学校近くと上高地にある原流域を比較して見ることによって、より梓川や地域の自然を大切にしようとする気持ちを高めることができた。自然を保護することと、人の暮らしを安全・豊かにすることの両立の難しさを感じつつも必要であることを知るなど、子どもたちにとって大変有意義な体験となった。
--	---




環境教育支援事業実施報告書






【番号：39-4】

授業名	上高地から流れる梓川の水利用と探検学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3年4組	参加人数	34人
担当者	柏原 美紀	記入者	柏原 美紀
実施日(期間)	令和5年9月29日(金)		
講師名・実施概要	【番号：39-1】と同様		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>説明 水殿ダム。ダムの深さや使用目的などの説明を受けたり、ダムの施設やダム全景を見たりしながら、メモやスケッチをしている。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>説明 ウェストン碑近くの梓川の川原。川や川原の様子を観察を行う。川の流れの中に魚や水生昆虫などを見つけていた。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>説明 犀川の支流・清水川について説明を受け、源流の清らかさや水の冷たさを体感している。</p> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波田の梓川よりも水が冷たくてびっくりした。 ・波田の河川敷とは違って、木が多くあった。 ・上高地は思っていたよりも暖かかった。 ・清水川は、とてもきれいだった。源流から水が急に増えていた。 ・ダムの水の多さに驚いた。 ・上高地の川のきれいさを守る為に、ゴミを捨てないようにしよう。 ・汚れていたダムをきれいにしたいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上高地の自然の豊かさや、水の清らかさに圧倒された。児童が直接的に自然の雄大さに触れ、この自然を守っていかなければならないということに気付ける貴重な機会だったと思う。 ・自然を大切にしようという気持ちが児童に芽生えた有意義な学習であった。
---------------	---

授 業 名	自然体験プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校6年1組	参加人数	34人
担当者	青柳 智之	記入者	青柳 智之
実施日（期間）	令和5年7月5日（水）		
講師名	NPO法人わおん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木の輪切りを使っての宝探し ・美術館 ・ブランコ ・スラックラインとハンモック 		
実施状況 (授業風景)	 <p>全部で6個の宝を探す。みんな森を走り回る。木を輪切りに切ったものは森の中に隠れるので、なかなか見つからない。</p>  <p>画用紙のフレームを使った作品。このフレームを置いただけで、立派な美術の作品になる。みんなで見合えば、たちまちそこは美術館に。</p>  <p>木と木を結んでスラックラインのコースに。松の木を避けながら設置。バランスが難しい。この他にもハンモックやブランコも設置し、どのような楽しみ方ができるのか体験。</p>  <p>自分たちで計画を立てた構想について、講師に相談する。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 「今日は木工教室でお世話になった方々と一緒に松林へ行きました。最初はゲームみたいな感じで、木の輪切りを探しました。私も探してみましたが、なかなか見つけれませんでした。けれど「こういう遊びも楽しくていいな」と思いました。次に、ブランコをやりました。ブランコは、太い縄を木に引っかけて、すわる所も木で出来ていました。私も乗って見ましたが、とても楽しかったです。私は、今回の経験で、よりみんながけがなく安全に遊べるようなものを作りたいな、と思いました。」</p> <p>2 先生方の感想、要望等 松林にあるつつじを切り、そこを広場にしたいと考えていた子ども達であったが、「切るのは最低限にして生かすのも方法」という、新しい視点に気づかせていただき、とても有意義な時間になった。</p>		

授 業 名	自然体験プログラム		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 相談室	参加人数	5人
担当者	高山 勝行	記入者	高山 勝行
実施日（期間）	令和5年7月5日（水）		
講師名	NPO法人わおん		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・万華鏡づくり ・スティックライン体験 ・ハンモック体験 		
実施状況 (授業風景)	<p>①万華鏡づくり 万華鏡の中に校庭にある植物を入れ、オリジナルの万華鏡を作る</p>   <p>②スティックライン体験 校庭に張られたスティックラインの上を、こわごわ何度も落ちながら渡っている。</p>  <p>③ハンモック体験 校庭に張られたハンモックで、気持ちよさそうに寝ている。最初は乗るのにも苦労していたが、すぐにコツを掴んだようです</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 児童のお礼の手紙より 「プーさん、なおっちさん、この前は、一緒に自然との遊び方を教えてください、有り難うございました。万華鏡では、花びらや葉っぱで、自分でしか作って見られない万華鏡が作れて、楽しかったです。ハンモックでも、寝れるような心地よさでした。テープ渡りみたいなものは、意外に難しく大変でした。でも、どれも楽しかったです。」 「なおっちさん、プーさん、この前は有り難うございました。すごく楽しかったので、次の時間も遊びました。僕も自然が好きです。自然にはおもしろいものがいっぱいです。特に万華鏡を作るのが楽しかったです。また、来てください。嬉しかったです。」</p> <p>2 先生方の感想、要望等 児童は生き生きと活動に取り組んでいました。万華鏡では、自分なりの変化に富んだ万華鏡を作ろうと、校庭にある植物を熱心に探していました。万華鏡本体を自分でもつくりたいという児童がたくさんいたので、後日、作ってみました。スティックラインやハンモックは初めて挑戦する児童ばかりで、何度も失敗しながらも、あきらめずに挑戦する姿が見られました。</p>		

<p>授業名</p>	<p>シャワークライミング</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立大野川小学校3・4年</p>	<p>参加人数</p>	<p>8人</p>
<p>担当者</p>	<p>齊藤 優子</p>	<p>記入者</p>	<p>齊藤 優子</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和5年7月21日(金)</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰邦良氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>「梓川 大河の一滴」のライドショーを見ながらお話をしていただき、梓川の一部始終を知る。 シャワークライミングをしながら川遊びの面白さを感じるとともに、地元の川の素晴らしさを知る。 水(川)の危険さを教えてもらい、もしもの時の対処法を学ぶ。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: row;"> <div style="flex: 1;">      </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>「梓川 大河の一滴」のライドショーを見ながらお話をしていただき、梓川のすばらしさを知ることができました。川や自然を守る大切さ、守れるのは自分たちであることを改めてかんがえることができました。</p> <p>ウェットスーツに着替えていざ出発！きつい。動きづらい。の音が多数ありました。</p> <p>「こんなことなら痩せておけば良かった。」とつぶやく子まで笑。それでも、皆ノリノリ早くやりたくてしょうがない様子でした。</p> <p>水がかなり冷たいため、まずは自分の後ろの人に水をかけてあげることからでした。</p> <p>たくさんしっかりかけてあげることが愛だということで、たくさんかけました。「きゃー」と言いながらたくさんかけられていました。</p> <p>川の流れは強く、進むのが大変だったけど、電車になることで進むことができました。</p> <p>途中途中、止まっては石の話や断層の話などもしてもらいました。何千年、何万年それ以上ものすごい長い年月が川を作っています。</p> </div> </div>		



滝つぼにジャンプ。飛び込むまでは恐くて、怖気づいてしまいそうでしたが、飛び込んでしまったら、とても面白かったようで、ほとんどの人が2回目挑戦しました。



ロッククライミングにも挑戦。今まで小4でクリアできた人は全国で一人とのことで皆、白熱しましたが・・・もちろん一人もクリアできませんでした。



滝の下の流れが強いところを横断しました。斜め45度に進むのがいいということでした。流されて岩に当たってしまったら、津波などだったら死んでしまいます。

岩にあたらずクリアできるように頑張りましたが、成功者は2人でした。



皆無事帰還！

「疲れた～」 「楽しかった～」 「お腹すいた～」 の声多数。

授業について

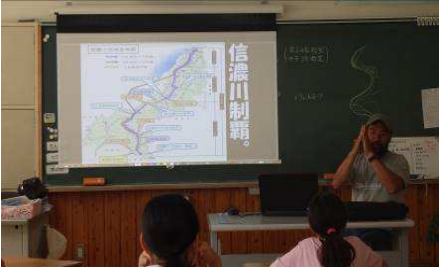



1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

みんなシャワークライミングの日を心待ちにしていました。実際にやってみると、1名は思っていたのと違ったのか、途中挫折しそうになり、集団から離れてしまうこともありましたが、インストラクターの方に声をかけてもらいながらゴールまで辿り着くことができました。その他の子については、大変楽しく前向きに活動することができました。またやりたいという声も多かったです。

2 先生方の感想、要望等


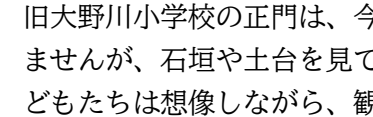


自然や環境に関わるお話を織り交ぜながら様々な体験をさせていただきました。学校の職員だけではできない内容ですので、とてもありがたかったです。

学校引率者は1名だけでしたが、インストラクターは2名ついてくださったおかげで、途中、気持ちが折れちゃった子や疲れて追いつけない子につききりになってもらうことができ、滞りなく、最初から最後まで行程進めることができ、大変助かりました。


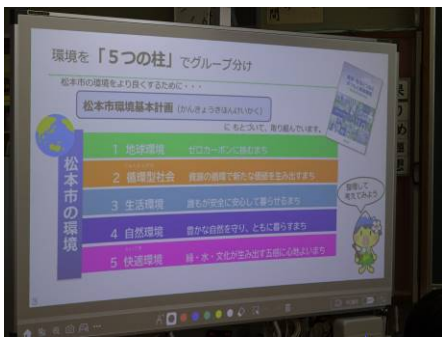


授 業 名	地元の川大好き！梓川リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校3・4年	参加人数	10人
担当者	伊藤 巧馬・横山 享司	記入者	伊藤 巧馬
実施日（期間）	令和5年7月19日（水）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で梓川の源流学習、犀川への合流等スライドショー ・梓川に入る、水生昆虫の採集 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>梓川ってこんなにつながっているんだ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>とびこんでも大丈夫</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水生昆虫いるかなあ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>こんなにいっぱいいるんだ</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梓川の水はダムの水が流れてくるからとても冷たいことが分かった。 ・こんな簡単につかまえられるんだ。 ・川ってこんなに遊べるってことが分かった。今度来れたらまた来てみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の自分達でも熱中して遊べるということに驚かされました。 ・自然に冷たい水だと思っていましたが、ダムの底の方にある日光の届かない冷水が流れてきていることを初めて知りました。また、その冷水で元からいた魚に影響があるということも初めて知りました。 		

授 業 名	ワクワク下水道教室		
学校名、学年、学級	松本市立芝沢小学校4年1・2組	参加人数	64人
担当者	担任 山本 仁子・内山 将也	記入者	山本 仁子
実施日（期間）	令和5年9月7日（木）		
講師名	松本市上下水道局下水道課 宮渕及び両島浄化センター		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの下水の流れ ・ペットボトルを使った紙の溶け方実験 ・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察 		
実施状況 (授業風景)	<p>下水の流れ</p>  <p>紙の溶け方実験・微生物観察</p>     		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホールの役割が分かった。家の近くにもあるので、よく見てみたい。 ・下水道管を通して水が流れていく距離がとても長くて驚いた。またいろいろな工夫があることが分かった。 ・最初の汚れた水が、とてもきれいになって放流される事が分かった。 ・トイレットペーパーが粉々になって、びっくりした。今まで違いがわからなかったけれど、とてもよく分かった。 ・微生物の種類はたくさんあることが分かった。また、動いていて驚いた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業の中で浄水センター内の様子や微生物の画像、様々な実験を見せていただいたことで、興味・関心をもって学習に臨むことができ、理解が深まったと思われる。 ・浄水センターで働く方から直接お話を聞くことができたので、微生物の種類や送られてくる水の量など、学習の中で生まれた疑問について質問する機会ができ、大変ありがたかった。 		


授 業 名	体験して学ぶ「自然や環境」について		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校 まつかぜ1・2・3組	参加人数	24人
担当者	新村 邦子・木下 靖之・武井 直子	記入者	新村 邦子
実施日（期間）	令和5年10月24日（火）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村哲氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のものビンゴ ・やぎ・チャボとのふれあい ・水生昆虫を探す ・ツリーハウス体験 ・森の中で自然を感じる 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>バードウォッチングをしました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>やぎさん、たくさんたべてね</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>水生昆虫さがしをしました。 今回は見つけれず残念。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ちゃぼさん、抱っこしたら あったかいね。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランコに乗ったり、山の斜面をひたすら登ったりしました。 ・とてもよい天気で、疲れも感じさせずに元気に歩きました。 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゲハの幼虫を捕まえてうれしかった。 ・チャボを抱っこしたらあたたかかった。 ・やぎに葉っぱやクリをあげるのが楽しかった。 ・坂をどんどん上って行って、降りるのが怖かったけどおもしろかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校では体験できない活動をたくさんできて、とても楽しそうだった。 ・自分のあげた葉やクリの実をどんどん食べてくれることがうれしそうだった。 ・とてもよい天気に恵まれ、秋の一日を満喫することができた。 ・毎年行かせていただいている。今後も続けたい活動です。 		

授 業 名	地元の山が100倍好きになる登山学 「乗鞍散歩」		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校1・2年	参加人数	6人
担当者	中澤 清子・奥村 春輝	記入者	中澤 清子・奥村 春輝
実施日（期間）	令和5年10月27日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・暮沢集落から旧大野川小学校・白糸の滝まで歩く。 ・山での命を守る方法や知識を教わる。 ・地元の山の自然や景色を楽しみながら学ぶ。 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>現在の大野川小学校は、バス通学のため、徒歩で学校に通う児童がほとんどいません。しかし、昔の小学生は遠いところから徒歩で通っていました。今回は昔の子どもたちに心を寄せながら、当時の通学路を歩きました。乗鞍高原の旧暮沢集落から出発し、観光地になっている千間淵や千鳥池を通り、旧大野川小学校とその先の白糸の滝へ向かいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>旧大野川小学校までの道には、今は森になってしまっていますが、集落跡がありました。また、ただの水たまりに見えるようなところも、イノシシやクマといった獣のお風呂だということを教えてもらい、子どもたちは驚いていました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>旧大野川小学校の正門は、今の門よりも大きくて立派でした。建物はありませんが、石垣や土台を見て、「ここが教室で、ここが廊下かな。」と子どもたちは想像しながら、観察していました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>旧大野川小学校のさらに先の急な道を登ると、幻の滝といわれている、白糸の滝がありました。大人でも這って登るような厳しい斜面でしたが、講師の方に安全面で協力していただき、子どもたち全員、無事にたどり着くことができました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>乗鞍中の水が集まる場所ということもあって、たくさんの水があふれ出ていました。子どもたちは、冷たくてきれいな水に感動していました。ガイドさんがいないと来られないところなので、子どもたちにとって大変良い経験になったと思います。</p> </div> </div> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」「帰りたくない」と、楽しそうに生き生きと活動していました。 ・普段の生活では体験できない活動で、新鮮味があったようです。特に白糸の滝までの斜面を登るのが、子どもたちにとっては怖いかなと思いましたが、少し怖い活動にも積極的にチャレンジしようとする様子がありました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>乗鞍に住む子どもたちだからこそ、こういった自然と触れ合う活動は地域に愛着をもつという観点からも、大事にしたい活動です。もっとたくさん経験させてあげたいなと思いました。活動している子どもたちの顔はとても生き生きしていました。普段は絶対入れないような場所を歩き、普段から自然豊かなこの場所住んでいても、なかなか触れられない自然の雄大さや美しさを感じることができました。子どもも大人もそう思えるような活動を設定していただき、たいへんありがたかったです。とても有意義な時間となりました。</p>
---------------	--

<p>授業名</p>	<p>まつもとの環境について学ぼう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校6年</p>	<p>参加人数</p>	<p>4人</p>
<p>担当者</p>	<p>斉藤 恵太郎</p>	<p>記入者</p>	<p>斉藤 恵太郎</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和6年2月22日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>松本市環境エネルギー部</p>		
<p>実施概要</p>	<p>小学校6年生「人と環境」 松本市の環境への取り組みをお聴きし、「私たちにできること」を考えた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>松本市環境エネルギー部の方からの講義</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>松本市の環境「5つの柱」の説明</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>これまでの学習を想起しながら講義を聞く</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>授業の感想や私たちにできることを記入用紙に書き、授業を振り返る</p> </div> </div>		
<p>授業について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> 市の方から直接お話を聞くことができ、これまで学習したことの振り返りの時間も兼ねていたので、講義に耳を傾ける姿が多くみられた。 気温の上昇を防ぐためにも、自分にできることに少しでも取り組みたい。 環境について松本市が取り組んでいる活動を知ることができてよかった。 安曇や松本のきれいな環境を大切に残していきたいと思った。 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> 今後は個別に追究を進める学習を行う予定です。そこに向けて今の松本市の状況や市の方々の取り組みを知ることができた貴重な時間になりました。 初めて本講座の申し込みをしました。今後もこのような機会を多く取り入れ、児童生徒と地域について学びを深めたいと思いました。 		

授 業 名	冬の上高地～水と人々に迫る～		
学校名、学年、学級	松本市立安曇小学校4・5年	参加人数	5人
担当者	横山 享司	記入者	横山 享司
実施日（期間）	令和6年2月27日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰邦良氏		
実施概要	冬の上高地を訪れ、人のいない自然の美しさと厳しさを体感し、この地で秋に行った水質調査とテイスティングを同じ場所で行った。また、観光シーズンに向けて準備を進める工事の様子を観察した。		
実施状況 (授業風景)	  	<p>【説明】小峰さんから冬山の装備と約束についてのレクチャーを受けた。「一番大切なのは手袋。凍傷にならないように外すときは上着に入れる」「雪崩危険地帯は間をあけて歩く。そうすれば救助できる」「すれ違いの時は体を内側に向ける」などの話を聞き子ども達は忠実にそれを実行した。マイナス5度の上高地を散策。雄大な穂高連峰を見ながら大正池から田代湿原に向かった。</p> <p>【説明】昨年10月に調査した上高地大正池そばの湧水「さくら沢」でパッケテストの再調査。前回もそうだったが、1回目は一瞬で「COD8以上」、2回目は「COD0」だったことに子ども達は「ここには何か流れ込んでいるのかな」と驚いていた。「おそらく温泉成分か鉄分」の予想。ここは不思議な湧水である。樹林帯を歩くと枯れたクマザサが目についた。「例年より1メートルも少ない積雪。本来なら0℃の雪の中で春を待つクマザサが外気に触れて枯れてしまった」という小峰さんの説明に環境問題がここ上高地に迫っていることを実感した。サルオガセが水の上で育つこと、自然の木々が美しい密度を保っていることを学びながら梓川左岸の河原に入った。</p> <p>【説明】中の瀬で梓川に降り立った子ども達は、ケショウヤナギの「赤」、雄大な穂高連峰の「白」、そして空と梓川の「青」の美しさに触れた。一方で堆積した土砂を取り除く工事関係者の重機を見ながら、2か月後に迫った開山の準備をしている人々の姿から、ここが観光地であることも実感している。自然豊かな上高地は「人の手」によって維持されているのである。この後、誰もいない河童橋で記念撮影し、目的地「清水川」へ向かった。</p>	

	 <p>【説明】秋に訪れた時と同様に清水川でもパックテストとテイスティングを行った。「COD0」は予想通り。この川の水を何度も飲んでいいる子ども達は「期待通りのおいしさ」を実感した。「善六沢より清水川の方が好き」と答えた子もいる。「梓川の水」をテーマに1年間探究し続けてきた子ども達は、伏流水の原点である清水川から、観光地である上高地について見返した。「自然保護と利用の好循環」を目指し、さらに追究を続けていく。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>しっかりと頭に入れたことは霞沢発電所の山の頂上と大正池はほぼ同じぐらいの標高だったこと、それから動物の尿で最も臭うのはキツネの尿だったこと、他には冬の湧き水もキレイだったことや雪が90%空気できていることなどです。清水川の所から帰りの車までは超頑張って歩きました。足が痛い中やっぱり良かったと思います。とてもいいスキー場ぐらい雪が積もっている上高地でした!!!!次回みねちゃん（小峰さん）に会えるのは乗鞍登山ですね。</p> <p>さくら沢のCODがなぜ最初の数値が高かったのか突き止めたいです。暖かくなったらさくら沢で何か所か水をとって調べたいです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>「さくら沢」「清水川」は秋にもパックテストとテイスティングを行った場所である。同じ場所を異なる時期に調べることは、前回の子も達の体験が活かされる。それを「冬の上高地」で実施できたことには大きな価値があったと考える。「さくら沢」でのパックテストが前回と同様に1回目と2回目に大きな差があったことは、専門家の意見をいただきながら再調査できそうな課題だ。次のシーズン、春と夏に訪れて解決したい場所だ。</p> <p>リトルピークス小峰さんは、継続的にガイドをしていただいている。子ども達をよく理解し、適切な対応をとってくださるので感謝している。今回も上高地の自然やその利用、環境問題に触れた話と冬山へ入山する時の心構えなど、多方面から話をしていただき、それを実践させていただく場があった。自分で考えて行動する子どもの姿がどんどん出てきた。今後も「乗鞍登山」「梓川ラフティング」等でお世話になると思うが、同じガイドの方に複数回かかわっていくことも大切な学びとなったと考える。</p>

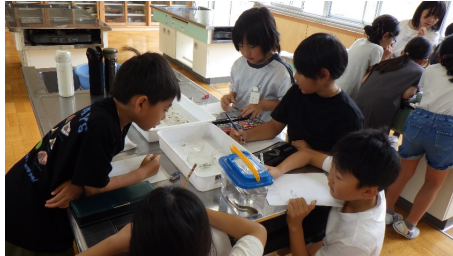
<p>授 業 名</p>	<p>川と遊ぼう</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立山辺小学校3年3組</p>	<p>参加人数</p>	<p>33人</p>
<p>担当者</p>	<p>小原 睦美</p>	<p>記入者</p>	<p>小原 睦美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和5年9月7日（木）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰邦良氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>大河一滴スライドショーで川の説明を聞いたあと、学校横の薄川で、下流から上流まで川探検をした。 いつも身近にあるけど体験したことのない川で遊び、怖さ、楽しさを感じることができた。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="485 611 960 882"> </div> <p data-bbox="485 898 1481 976">説明：小峰さんの大河の一滴を聞いた。川の最初一滴から海に行くまでの小峰さんの体験話を聞いて、これから薄川で行う探検に期待をもった。</p> <div data-bbox="485 987 948 1234"> </div> <p data-bbox="485 1245 1481 1323">説明：はじめは恐る恐るだったが、川に入ると楽しさがわかって、プールで泳げない子ども、川の流に身を任せて遊ぶ楽しさを体験できた。</p> <div data-bbox="485 1341 948 1610"> </div> <p data-bbox="485 1626 1481 1704">説明：川を遡っていき、川の流れがはやところとゆっくりのところ、深いところ浅いところなど川の中の様子を身をもって体験した。</p> <div data-bbox="485 1727 948 1995"> </div> <p data-bbox="485 2011 1481 2089">説明：段差があるところに、すごく深いところがあるところを見せてもらい、白い泡がたっているところは危険だと教えてもらい、川の怖さに気がついた。</p>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は怖かったが、入ってみたら川ってたのしかった。 ・海と川はすごく危ないけど、きをつけてやればあんぜんにできる。 ・クジラのなかにプラスチックがいっぱいあるからゴミをいっぱいすてている人がいると思った。 ・いきおいがよくても大きな石のうしろにいけば、いきおいがゆるやかになって大かつやくになった。 ・たきみたいになっている水は白いから空気をふくんでいて深いことが分かった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今の子どもたちには川を体験する機会がない。川を体験させて欲しいと思ったので、それができて良かった。</p> <p>装備や見てくれるプロの方がいるという整備された環境があって初めて実現できたことだと思う。</p>
--------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：50】

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立山辺小学校3年3組	参加人数	33人
担当者	小原 睦美	記入者	小原 睦美
実施日（期間）	令和5年9月11日（月）		
講師名	川の自然と文化研究所 山本氏、大輪氏		
実施概要	学校横の薄川で生き物採集をして、家庭科室でとってきた生き物の観察会をおこなった。		
実施状況 (授業風景)	<div style="text-align: center;">  </div> <p>説明：薄川に生き物があるなんて知らなかった。取り方を教わってとったら魚から虫のようなものまでいろいろいて楽しみながら夢中になって採取した。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>説明：魚だけではなく、ヘビトンボの幼虫などの虫もいて、友達がとったものを一緒に喜んでみる事ができた。取り方を教えてもらったこともよかった。</p>		



説明：家庭科室までとれた生き物を持ち帰り、分類や名前などを教えてもらい、観察した。



説明：もっと調べてみたい生き物については、タブレットで撮影して保存し、その後の調べ学習に活かした。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・すすき川には見たことない生き物がいっぱいいてびっくりした。
- ・いろんな生き物がとれたり見れたりして楽しかった。
- ・ミミズみたいな生き物やムカデみたいな生き物は、ゆびをかむ力があることがわかった。
- ・ゴキブリみたいな物は、いろんなお魚を食べようとしていた。
- ・石にもにすを作っている物に入り口があってすごくおどろいた。
- ・おさかなにくわしい先生がいたから魚がすきになりました。
- ・3年3組には生き物が好きな人がたくさんいます。薄川にいる生き物を大切にしてください。
- ・みんなで川を守り川の中にいる魚をたすけてもらえるとても魚たちがよろこぶとおもうので、川にはごみをすてないでください。
- ・絶滅危惧種がいると知りおどろきました。
- ・絶滅危惧種がいる川なのできれいなままにしてほしいなと思います。

2 先生方の感想、要望等

子ども達にとって川は単純に魚が泳いでいるというイメージだったが、魚だけではないいろいろな生き物が川をすみかにしていること、それぞれの生き物に名前や生態があることを知って、もっとしりたいという意欲につながった。

私たちの地域に流れている薄川がとてもきれいで、絶滅危惧種もいることを知って、川を大切に思う気持ちが生まれたことが担任としてもうれしかった。

その後、「おもしろすすき川生き物図鑑」を作る活動に発展している。

令和5年度
松本市小中学校環境教育支援事業
学習プログラム一覧



令和5年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧

分類	No	講座名称	講師
校内	きく・みる	1 気候変動とSDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ
		4 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課
		5 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		6 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学（まなぶ）会
		7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
	たべる	8 ぬかくご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		9 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ
		10 炭用石窯でピザ焼体験	NPO法人石窯スマイル研究会
	つくる	11 木材の活用法（小物づくり）	寿さと山くらぶ
		12 裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）	松本市社会福祉協議会ボランティアセンター
		13 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん
	実験する	15 木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
		16 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		17 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		18 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		19 小水力発電機等による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
		20 アウトドアから学ぶ防災・災害対策	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		21 手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		22 着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学	すえなみブッシュクラフトスクール長野
		23 校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！	松本ホテル学（まなぶ）会
校外		公園等	24 身近な自然観察
	川	25 水辺の観察会	NPO法人えんどっこ
		26 水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所
		27 水辺の生き物観察から考えよう！	松本ホテル学（まなぶ）会
		28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		30 水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）	合同会社リトルピークス
	山	31 地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
		32 里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？	株式会社柳沢林業
	特定の場所・その他	33 謎解きウォーク体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
		34 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	いきものみつけファームin松本推進協議会
35 石窯でピザづくりたいけん		NPO法人石窯スマイル研究会	
校内外両方で可	36 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	
	37 プランター菜園講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	
	38 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校がらす	
	39 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	
	40 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし	
	41 自然体感プログラム	NPO法人わおん	
	42 外あそびの達人講座	NPO法人わおん	
	43 キャンプ・野外生活 基礎	すえなみブッシュクラフトスクール長野	

環境学習プログラム 教科・領域との関連について

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域						
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合	
校内	きく・みる	1	気候変動とSDGs	○	○				○
		2	ツキノワグマの生態を知ろう					○	○
		3	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	○	○				○
		4	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	○					○
		5	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	○	○				○
		6	生きものから学ぶ環境学習	○	○				○
		7	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○	○
	たべる	8	ぬかくごご飯炊き体験	○			○		○
		9	木の授業とバウムクーヘン作り	○					○
		10	炭用石窯でピザ焼体験				○		○
	つくる	11	木材の活用法（小物づくり）	○		○			○
		12	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成）				○		○
		13	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり			○			○
		14	自然素材で簡単工作			○		○	○
	実験する	15	木質バイオマスエネルギー利用方法		○				○
		16	あかりのエコ教室		○				○
		17	エコと太陽光発電教室		○				○
		18	ワクワク下水道教室		○				○
		19	小水力発電機等による自然エネルギー体験		○				○
		20	アウトドアから学ぶ防災・災害対策		○		○	○	○
		21	手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	○	○				○
		22	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学		○		○	○	○
		23	校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！	○	○				○
校外	公園等	24	身近な自然観察		○			○	○
	川	25	水辺の観察会	○	○			○	○
		26	水辺の生物の観察会	○	○			○	○
		27	水辺の生き物観察から考えよう！		○			○	○
		28	地元の川大好き！リバーアドベンチャー					○	○
		29	梓川&奈良井川&犀川ラフティング					○	○
		30	水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）					○	○
	山	31	地元の山が100倍好きになる登山学					○	○
		32	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？					○	○
	特定の場所・その他	33	謎解きウォーク体験	○			○		○
		34	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	○				○	○
35		石窯でピザづくりたいけん				○		○	
校内外両方で可	36	いきもの探しと観察及び環境教育講座		○			○	○	
	37	プランター菜園講座					○	○	
	38	体験！体感！ 外あそび！！	○	○			○	○	
	39	体験して学ぶ「自然や環境」について	○	○	○		○	○	
	40	火おこしと簡単な野外料理、農業体験	○			○	○	○	
	41	自然体感プログラム		○			○	○	
	42	外あそびの達人講座					○	○	
	43	キャンプ・野外生活 基礎					○	○	

● 講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動とSDGs (講座 No. 1)
支援事業内容	<p>気候変動とSDGsを学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらよいか SDGsとは何か、その本質はどのようなことなのか</p> 
対象	小学4年生以上
時間数	1時間程度
講師人数	子どもの人数に關係なく講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクターとスクリーン(なければ講師が持参します)
講師からの持込資料等	説明用教材
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2014～2017年度 益田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.15の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】自然エネルギーネットワークまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160 (留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.ene-net-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう (講座 No. 2)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣(校内を含む)で行う学習支援 パワーポイントをを用いた講義</p> 
対象	小学1年生から中学3年生まで
時間数	45～90分程度
講師人数	子ども100人に講師2人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	・スクリーン ・プロジェクター
講師からの持込資料等	・パソコン ・トランクキット(クマの毛皮、頭骨等)、クマの着ぐるみ
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、20年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。
開催実績	平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成30年度 田川小学校 山の動物 令和2年度 会田中学校 ツキノワグマってどんな動物？ 令和3年度 大野川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 安曇小中学校 クマ授業
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】NP0法人 信州ツキノワグマ研究会 【担当者名】浜口あかり 【代表者名】岸元良輔 【TEL】0263-36-1884 (不在が多いため、他の方法でご連絡ください) 【FAX】0263-36-1884 【Eメール】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp 【HP】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶが自然環境。(講座 No. 3)
支援事業内容	<p>学校登山の事前学習とあわせて、信州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の初歩、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング(能動的な学習)を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域の魅力作りパワーの源になります。そして、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先方にも現在の登山のスタンダードを知っていただいただき、きつい訓練登山的な考え方からの解放を目指します。</p> 
対象	小学4年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	90分程度
講師人数	1学年に講師1人(学年単位で実施できます。)
費用	<p>① 講師謝礼 → 【手数料】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限分毎) ② コース・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③ 個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし ④ 交通費 37円/km(市旅費規程) × (学校から住所までの距離) パワーポイントの使用できること、軽い運動ができるスペース パソコン</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資料等	<p>2005年に設立された、長野県の中岳地帯を主な活動場所とするNP0法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松場省吾他、学校登山サポータープログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びを沢山知ってもらえば、登山や野外で活動は大人になっても続けられることができます。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。</p>
講師について	2012、14年度 会田中 2015年度 開智小「シカと環境のワークショップ」(美ヶ原キャンプ時) 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」 2022年 源池小 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。 小学校登山実施の申し込みがなくても利用いただけます。
開催実績	2012、14年度 会田中 2015年度 開智小「シカと環境のワークショップ」(美ヶ原キャンプ時) 2016年～18年度 松本市環境学習講座「シカの角を探そう」 2022年 源池小 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。 小学校登山実施の申し込みがなくても利用いただけます。
その他	<p>【団体名】信州まつもと山岳ガイド協会やまつもと 【担当者名】松場省吾 【代表者名】植松晃岳 【TEL】0263-34-1543 【FAX】0263-55-6194 【メール】matsusho2013@ab.auone-net.jp 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒390-0304 松本市大村1082-4 ①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 4)
支援事業内容	<p>私たちの暮らす松本市には、どんな「環境」があるのでしょうか。また、その「環境」をよくするために何ができるでしょうか。 松本市環境基本計画に基づき、スライドを用いて一緒に考える講座を行います。 学習内容は、以下の1～5の分野の中から、ご要望に応じて組み合わせることも可能です。 <環境の「5つの柱」> 1 地球にやさしく ゼロカーボンって何？地球温暖化を防ぐために、一人ひとりが できることについて学びます。 2 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みや、ごみの 現状、食品ロスなどについて学びます。 3 安心・安全な暮らし 市内の騒音や水質などの環境の状況や、私たちの行動がどのよ うに環境に影響を与えるのかについて学びます。 4 自然の恵み 松本市にはどんな自然環境があるでしょうか。生きものの特徴 や課題について、わかりやすく学びます。 5 心地よいまち 身近にある緑や心地よい環境、松本市らしい街なみを守るための 取組みについて学びます。 小学4年生以上 1時限 講師1～2名 ①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体で必要なもの ・なし ③児童個人で必要なもの ・なし 電源の確保、モニター(必須ではありません) プロジェクター、スクリーン、PC、配布資料等 令和2年度 二小小学4学年</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資料等	電源の確保、モニター(必須ではありません) プロジェクター、スクリーン、PC、配布資料等
講師について	令和2年度 二小小学4学年
その他	<p>【団体名】松本市環境・地域エネルギー課 【担当者名】環境政策担当 【TEL】34-3268(平日8時30分～17時15分のみ対応可) 【FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7 ①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター 担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>
講師 連絡先	<p>【団体名】松本市環境・地域エネルギー課 【担当者名】環境政策担当 【TEL】34-3268(平日8時30分～17時15分のみ対応可) 【FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7 ①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター 担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター 担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前 に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No. 5)
支援事業内容	<p>気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、異常気象と自然災害、ごみ問題、省エネルギー・自然エネルギー、SDGs 等について学べます。</p>  
対象	小学校高学年から中学生まで
時間	要相談
講師人数	1クラス～1学年に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン(※体育館、講堂などで実施する場合はスクリーン、教材)
講師からの持込資料等	パソコン、教材
講師について	気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境審議会委員、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。
開催実績	<p>随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座(エコネット)内での講習 平成30年度 明善小 令和2年度 山辺小</p>
その他	「竹筒と筆ろうを使ったキャンドルづくり(講座No.13)」、「小水力発電機等による自然エネルギー体験(講座No.19)」と同日実施が可能です。(要相談)
講師連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kanryo/oho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前</p>

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	生きものから学ぶ環境学習 (講座 No. 6)
支援事業内容	<p>身近な生き物を含む、いろいろな生き物に見られる不思議、驚き、賢さ、美しさ、面白さ等を、スライドを用いて楽しく分かりやすく説明させて頂きます。それらについて質問をしながら理解を深める中で、人にとどって生物多様性や生き物の棲む環境がいかに大切かを学べる講座となっています。なお、くみ入れる内容に関しましてご要望が御座いましたら、ご相談ください。</p>  
対象	アリジゴク観察の例 小学校4年から中学校まで、特別支援学校
時間	45分、または90分程度(生き物観察を含める事も可・講座27参照)
講師人数	子ども人数に関係なく講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン、マイク。講義レジメの印刷配布
講師からの持込資料等	パソコン 生き物観察を含む場合、必要物について要、打ち合わせ
講師について	講師は信州大学で30年以上教鞭をとるとともに、現在も非常勤講師を務めています。各種の講演会での講師経験を持ち、毎年、小学生から大人までを対象に県内外で講演させて頂いています。
開催実績	<p>令和2年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等 令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等</p>
その他	講師は市外の県内、県外で年間10件以上の講演、学習会を行っています。・No.23、27の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】松本ホテル学(まなぶ)会 【担当者名】藤山静雄 【代表者名】藤山静雄 【TEL】0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 【FAX】0263-46-3275 【メール】sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】https://www.facebook.com/matsumoto.hofaru/ 【住所】〒390-0311 松本市水波25-6</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>



【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー (講座 No. 7)
支援事業内容	山 & 川 & 水の繋がりが、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 奈良井川バナーも完成。奈良井川流域の学校もぜひご活用ください。
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	1時間程度(内容によって変動有)
講師人数	子ども30人に講師1名(1クラスor学校単位で1講師も可能)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・特になし ・特になし
学校側に必要な準備	スクリーン・プロジェクター
講師からの持込資材等	PC・レスキュー用品など
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイドツアーコンセンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和4年度実施】 安曇小学校 5、6年「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」 〃 〃 3、4年「地元川大好き！リバーアドベンチャー」 榊川中学校 「川中に学ぶ」 「リバーアドベンチャー」 「奈良井川大河の一滴スライドショー」 梓川小学校 4年 「梓川大河の一滴スライドショー」 〃 「梓川リバーアドベンチャー」 「梓川上流探検」 筑摩小学校 2年 「地元川大好き！リバーアドベンチャー」 大野川小学校 3、4年 「地元川大好き！リバーアドベンチャー」 〃 1、2年 「乗鞍散歩」 大野川中学校 1、2、3年 「乗鞍高原スノーシュー大縦断」 田川小学校 5年 「奈良井川大河の一滴スライドショー」 〃 「犀川下りラフティング」 波田小学校 3年 「梓川大河の一滴スライドショー」 〃 3年 「上高地源流見学」 明善小学校 特別支援学級 「牛伏川で川遊び」 ・No.28、29、30、31の講座も提供しています。
その他	【団体名】リトルベークス(代表者名)小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【メール】mine@litttlepeaks.jp 【HP】https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇4306-7 ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


【分類：校内 - たべる】

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No. 8)
支援事業内容	昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、塩むすびを作って美味しいお米を味わってもらいます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜です。 炊き上がりまでの時間に、紙芝居やクイズで、安曇野の米や水、ぬかくどについて学びます。
対象	小学校3年生以上中学3年生まで、特別支援学級
時間数	2時間程度
講師人数	子ども30人に講師3人程度
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・安曇野産無農薬米 6枳(おむすび150個)で約6500円
学校側に必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	ぬか、釜、クッキングシート、その他の備品
講師について	Iターナー者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2018年度より松本観光ホスピタリティアカデジ「ガイドコース」の講師も務めています。
開催実績	(ぬかくどご飯炊き体験) 2015～2017年度 会田中学校 2020年度 菅野小学校 2015～2021年度 二子小学校
その他	・No.33の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】宗像 章 【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【メール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132-2
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


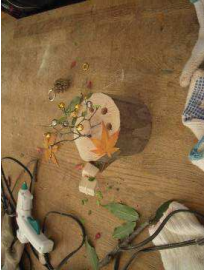
【分類：校内 - たべる】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No. 9)
支援事業内容	木の成長を体験的に学べる学習です。木が成長する際、1年に1つの円ができ、それが十年何百年と続くことで年輪ができます。木の成長に思いを馳せながら、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。また、竹や間伐材などを活用する学習も可能です。  
対象	小3から中3まで、特別支援学級
時間数	120分程度
講師人数	子ども15人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 (10 kg) 約1,000円/児童15人分 ・児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食材 約4,000円/児童15人分 (卵(大)40個、バター600g、ホットケーキミックス1kg、小麦粉500g、砂糖600g)
学校側に必要な準備	長机1台/児童15人分
講師からの持込資材等	レンジ等の資材、竹の棒などの資材、機材一式
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校の環境教育などを実施しています。会員数65名。 平成28年度 鎌田小、二子小 平成29年度 今井小、二子小 (4年・特支)、四賀小、鎌田小、会田小
開催実績	平成30年度 会田中、四賀小、菅野小、二子小 (4年・特支) 令和元年度 梓川小、二子小、四賀小、菅野小 令和2年度 菅野小、四賀小、中山小 令和3年度 四賀小、明善小、菅野小、中山小、開明小 令和4年度 四賀小、中山小、梓川小、芝沢小
その他	・No.11の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 寿と山くらぶ 【代表者名】 白川良昌 【担当者名】 鈴木喜一郎 【TEL】 0263-57-5460 / 080-5109-9715 【FAX】 0263-57-5460 【住所】 〒399-0022 松本市松原 9-17
申込み方法	①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - たべる】

講座名称	炭用石窯でピザ焼体験 (講座 No. 10)
支援事業内容	炭を使って小型移動式石窯を加熱しながら再生エネルギーや蓄熱エネルギーについて学び加熱した石窯で生地を伸ばしトッピングしながらピザを焼き試食する講座です。  
対象	小学1年生から中学3年生 「特別支援学級」
時間	90分程度
講師人数	講師最低3人 (教諭含めた参加者は10人程度)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・炭 約500円/1回 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・ピザ材料 100円/1人 (ピザ焼き枚数は参加人員に応じ5枚から8枚) ・講座実施場所 火を扱えるところ ・参加者の食物アレルギーの有無事前確認 ・必要に応じた飲み物
学校側に必要な準備	石窯 炭 設置台 ピザ材料 その他備品
講師からの持込資材等	地元間伐材や炭を利用して再生エネルギーを活用し環境問題への寄与を図り、また石窯体験を通じ青少年の健全育成へ寄与する団体です。会員数は11名です。
講師について	令和2年度 岡田小学校あさひ分校 女鳥羽中学校あさひ分校 令和3年度 明善小学校 特別支援学級
開催実績	プログラム実施の1ヵ月前には申込の連絡をしてください。 通年プログラム実施は可能ですが12月中旬から2月中旬は未実施雨天、強風は実施が不可能な場合があるので直前での実施日変更の可能性あり ・No.35の講座も提供しています。
その他	【団体名】 NP0 法人石窯スマイル研究会 【担当者名】 桐原 眞幸 【代表者名】 桐原 眞幸 【TEL】 0263-36-8835 【FAX】 0263-36-8835 【メール】 ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】 http://smilestone-labo.com 【住所】 〒390-0804 松本市横田 4-1-1 ①申込書の内容を上記EメールまたはFAXに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
講師連絡先	【団体名】 NP0 法人石窯スマイル研究会 【担当者名】 桐原 眞幸 【代表者名】 桐原 眞幸 【TEL】 0263-36-8835 【FAX】 0263-36-8835 【メール】 ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】 http://smilestone-labo.com 【住所】 〒390-0804 松本市横田 4-1-1
申込み方法	①申込書の内容を上記EメールまたはFAXに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	木材の活用法（小物づくり） （講座 No. 11）
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。</p> <p>また、山林での森林整備体験なども行います。（応相談）</p>  
対象	小学4年生から中学3年生まで
時間数	120分程度
講師人数	子ども6～8人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円（授業1時限毎） <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工材料費1人あたり約100円（事前の相談で決定）
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	<p>図工室、木工室等の会場（電源がある部屋）</p> <p>木工に必要な木材、機材一式</p>
講師について	<p>平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。会員数65名。</p> <p>平成27年度 鎌田小学校、会田中学校（森林整備指導）</p> <p>平成28年度 島立小学校、二子小学校、会田中学校、菅野小学校</p> <p>平成29年度 島内小</p> <p>平成30年度 源池小</p> <p>令和元年度 梓川小、四賀小、菅野小、二子小 明善小（6年・特支）</p> <p>令和2年度 源池小、寿小、菅野中</p> <p>令和3年度 二子小、梓川小、寿小</p> <p>令和4年度 芝沢小、明善小、寿小</p> <p>・事前学習として、木の学習や素材探し（小物の飾りとなるドングリ、押し花等）の対応も可能です。</p> <p>・No.9の講座も提供しています。</p>
開催実績	<p>【団体名】 寿さと山くらぶ 【代表者名】 白川良昌</p> <p>【担当者名】 鈴木喜一郎</p> <p>【TEL】 0263-57-5460 / 080-5109-9715</p> <p>【FAX】 0263-57-5460</p> <p>【住所】 〒399-0022 松本市松原 9-17</p>
その他	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
講師連絡先	
申込み方法	


【分類：校内 - つくる】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋作成） （講座 No. 12）
支援事業内容	<p>マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p>  
対象	小学校中学年以上（家庭科の授業開始後が望ましい）
時間数	2時間程度
講師人数	子ども10人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円（授業1時限毎） <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・材料（①40cm四方の布、②約40cmのひも） ・裁縫道具、アイロン ・マイ箸袋のサンプル
講師について	<p>市内在住のボランティアが作成を指導します。</p> <p>平成27年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校</p> <p>平成28年度 鎌田小学校</p> <p>平成29年度 信州大学教育学部附属松本小学校</p>
開催実績	
その他	<p>【団体名】 松本市社会福祉協議会ボランティアセンター</p> <p>【担当者名】 藤井 勇 【代表者名】 小林 弘明</p> <p>【TEL】 0263-27-3381（8:30～17:15）</p> <p>【FAX】 0263-27-2239</p> <p>【メール】 chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp</p> <p>【HP】 http://www.syakyo-matsumoto.or.jp</p> <p>【住所】 〒390-0833 松本市双葉4番16号</p> <p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
講師連絡先	
申込み方法	

【分類：校内 - つくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり (講座 No. 13)
支援事業内容	竹材を加工・装飾したキャンドルフード、蜜ろう製のろうそくを作ります。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」(6月：松本市美術館、12月：松本駅前)にて展示・点灯します。竹資源の利活用や地球温暖化防止について、作品づくりを通して楽しく学べます。 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	2~3時間程度
講師人数	子ども 5~6人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	工作室の確保(※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保)
講師からの持込資材等	竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ろう、ガスコンロ等
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト(6月、12月)」、「打ち水大作戦(8月)」等を行っています。
開催実績	平成29年度 鎌田小、市民向けワークショップ 平成30年度 明善小、四賀小(特支)、市民向けワークショップ2回 令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ2回 令和2年度 菅野小 令和3年度 梓川小 令和4年度 梓川小、明善小
その他	・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ(講座No.5)」と同日実施が可能です。(要相談) ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.5、19の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【©FAX】0263-57-5460 【メール】— 【住所】— 【HP】— https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smhp/shisei/kan_kyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	自然素材で簡単工作 (講座 No. 14)
支援事業内容	木の輪切りや木の実を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など道具が安全に使えるようになる講座です。 
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45分~90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・工作の材料費 100~200円程度(内容による) 工作が実施可能な場所の確保
学校側で必要な準備	講師からの持込資材等
講師について	工作に使う道具(のこぎり、小刀など)、自然素材(枝、木の実)塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャー)」 平成30年度 並柳小学校「自然体験プログラム、工作」 令和元~4年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体験プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」
その他	・No.41、42の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【©FAX】0263-87-4024 【メール】waon@powoon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市広丘郷原685
申込み方法	①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。



【分類：校内 - 実験する】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法 (講座 No. 1 5)
支援事業内容	木質バイオマス活用の重要性と活用方法を学びます。ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取りだす体験をします。 
対象	小学5年生以上
時間数	1.5時間～3時間程度
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要(体験型の場合は10人に1人)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・(炊飯を伴う場合) ポリ袋 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・(炊飯を伴う場合) 米代
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	火を使っても大丈夫な場所の確保 体験用の機材一式
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス
その他	・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.1の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】 自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】 平島安人 【代表者名】 平島安人 【TEL】 0266-52-0160 (留守電) 【FAX】 0266-52-0160 【Eメール】 nematsu@gmail.com 【HP】 http://www.enet-matsumoto.net 【住所】 〒392-0023 諏訪市小和田南9-3
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	あかりの工教室 (講座 No. 1 6)
支援事業内容	3種類のランプ(白熱灯・蛍光灯・LED)を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや省エネについて学べる講座です。  
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時間(45分)
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で 必要な準備 講師からの 持込資材等	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター 手回し発電機・電力測定器(4～5人で1台)
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年 ・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.17の講座も提供しています。
開催実績	
その他	【団体名】 パナソニック(株)エレクトリックワークス社 【担当者名】 丸山 真世 【TEL】 0263-27-4501 【FAX】 0263-27-4509 【Eメール】 maruyama.kiyoo@ip.panasonic.com 【HP】 https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】 〒390-0841 松本市清2-9-45 長野パナソニックビル2階 ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
講師 連絡先	
申込み方法	


【分類：校内 - 実験する】

講座名称	工コと太陽光発電教室 (講座 No. 17)
支援事業内容	<p>環境にやさしい太陽光発電のしくみを学び、実験を通じて太陽光発電の特徴(長所・短所)に気づき、考え、発表します。 太陽光発電の特徴を理解し、日常生活に置換えて学べる講座です。</p>  
対象	小学校4年生から6年生まで
時間数	1時間(45分)
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	<p>①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター
講師からの持込資材等	太陽電池・温度計・電力計他
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 (あかりのエコ教室)
開催実績	平成27年 波田小学校6年 平成28年 安曇小5・6年 平成29年 清水小4年、鎌田小5年
その他	・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。 ・No.16の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】 パナソニック(株) エレックトリックワークス社 松本電材営業所 【代表者名】 増田 真一 【担当者名】 丸山 貴世 【TEL】 0263-27-4501 【FAX】 0263-27-4509 【©メール】 maruyama.kiyo@jp.panasonic.com 【HP】 https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】 〒390-0841 松本市渚2-9-45 長野パナソニックビル2階</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	ワクワク下水道教室 (講座 No. 18)
支援事業内容	<p>下水道の仕組みについて学べる講座です。 (内容) 1 浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察</p>  
対象	社会科見学で下水の浄化センターに行く前に、予習として利用していたらと効果的です。 小学4年生
時間	1時間(1クラス毎)
講師人数	講師2~3名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	教室の確保(テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等) 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保 ペットボトル(500ml) キヤップ付き 1人2本)
講師からの持込資材等	顕微鏡カメラセット、パソコン等
講師について	松本市上下水道局 下水道課 宮渕及び両島浄化センター職員 令和2年度 松本市内小学校6校 令和3年度 松本市内小学校2校 令和4年度 松本市内小学校4校
開催実績	開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。(20分程度)5~7月に社会科見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合があります。また、ワクワク下水道教室、社会科見学ともに新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する場合がありますので、ご了承ください。
その他	【団体名】 松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】 飯島志保 (平日8時30分~17時15分) 【TEL】 27-4465 【FAX】 29-0933 【©メール】 gesui@city.matsumoto.lg.jp 【住所】 〒390-0848 松本市両島3-1 (両島浄化センター)
講師連絡先	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
申込み方法	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No. 19)
支援事業内容	<p>可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電自転車等の試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。</p> 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間	60分程度
講師人数	子ども30人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>校内の流水 (落差) がある箇所 可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車 平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト (6月、12月)」、「打ち水大作戦 (8月)」等を行っています。 平成18年度～ 松本市消費生活展への出展 (ソーラーカー、発電自転車の試乗体験) 令和3年度 安曇小 ・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギー」を学ぶ (講座 No.5) と同日実施が可能です。 (要相談) ・No.5、13の講座も提供しています。</p>
講師について	
開催実績	
その他	
講師 連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【©FAX】0263-57-5460 【メール】— 【HP】 https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan_kyojoho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html 【住所】—</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記 FAX 番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	アウトドアから学ぶ防災・災害対策 (講座 No. 20)
支援事業内容	<p>何を失った人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、非常時に身近な物を使って確保する考え方を学ぶ。その中から一番大切な体温保持する方法や火を手に入れる体験をする講座です。</p> 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時限程度
講師人数	1クラスに講師1人 (2人以上いれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(5人以下)で、新聞紙、ビニール袋、カップが必要。着火の道具約1,000円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備 講師からの 持込資材等	<p>火を扱うので理科室が適当かと思えます。 体温保持に関する資料(1人1枚)の印刷 着火の道具などを必要数 大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。</p>
講師について	
開催実績	<p>平成30年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 塩尻市広丘小 PTA 講演</p>
その他	<p>・体験部分は幾つかあるので要相談。飲み水の確保に変更も可能。 ・No.21、22、43の講座も提供しています。</p>
講師 連絡先	<p>【団体名】すなみプロジェクトスクワール長野 【講師名】代表：末次克洋 (すなみ かつひろ) 【連絡先】 中信地区環境教育ネットワーク (ee ネット) 事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【メール】 ecoconet@cominetnagano.jp ①申込書の内容を上記 Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打ち合わせをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	手作りする過器で飲み水作り (水の循環と森の役割を学ぶ) (講座 No. 2 1)
支援事業内容	<p>飲み水とは？をテーマに、飲む水と飲めない水の違い、地球規模の水の循環、森の役割について解説します。その後、ペットボトルで簡易ろ過器を作り、泥水を濾過する実験をします。</p>  
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(5人ほど)に1.5ℓペットボトル2本ずつ、麵棒1本ずつ。クラスに燻炭1袋(50ℓ1,500円)、砂1袋(20kg500円)、砂利1袋(10kg500円)が必要。 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	水を扱うので理科室が最適です。時間を短縮するため、事前にペットボトルの加工をお願いします。泥水を入れるバケツや水を汲むための容器、シャベル。
講師からの持込資材等	
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 令和2年度 鎌田小
その他	・No.20、22、43の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】すえなみブッシュクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋(すえなみかつひろ) 【連絡先】中信地区環境教育ネットワーク(eeネット) 事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【Eメール】ecoconet@gominetriagano.jp</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学 (講座 No. 2 2)
支援事業内容	<p>燃焼に必要な(可燃物、熱、酸素)の話と、様々な着火方法の仕組みを解説します。その後、実際にマッチ、ライター、火打ち石、虫眼鏡、弓きり式火おこしを使った着火体験をする講座です。</p>  
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(4人以下)で着火道具1セット/500円。弓きり式火おこし1,000円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	火を扱うので理科室が良いと思います。 着火道具を必要数 講師からの持込資材等
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度、本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小学童 令和4年度 鳥立小学校
その他	・着火体験の代わりに焚火(片付けまで)体験もできます。 ・No.20、21、43の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】すえなみブッシュクラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋(すえなみかつひろ) 【連絡先】中信地区環境教育ネットワーク(eeネット) 事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【Eメール】ecoconet@gominetriagano.jp</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

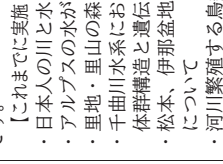
【分類：校内 - 実験する】

講座名称	<p>校庭の生き物(小動物)を探し、観察、実験してみよう！ (講座 No. 23)</p> <p>校庭の中の生き物を探し観察して生き物や環境について学ぶ講座です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教室で講座の内容を説明し、次に生き物観察についての解説をします。 2. 生きもの採集：校内には意外とたくさんお昆虫などがいます。これらをもっと探して、採集し、教室に持ちかえります。 3. 観察・実験：見つけた生き物を観察・実験します。動き方、習性、面白い点?いやな点?不思議な点?等、感じたこと、考えた事を記録し、描いたり、語ったりしてもらいます。これらを通して、生き物の嫌いな子、興味を持っていない子にも関心がもてるように指導します。 4. 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演をします(講演時間：要望で20-60分の範囲)。子どもたちに感想を述べてもらい、最後には捕まえた生き物は校庭に戻します。
支援事業内容	<p>写真左：捕まえた生き物の観察。 写真右：捕まえた虫の顕微鏡観察。</p> 
対象	<p>小学生・中学生・高校生(生き物観察会は低学年も可)</p>
時間	<p>1 45分 2 コマ(通常 90分) 2 45分</p>
講師人数	<p>1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名(10人当たり1名)</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円(授業1時限毎、通常2時間)計10,000円 補助者1人につき2,000円 計2000-4000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし</p>
学校側で必要な準備	<p>1 不要 2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。(可能なら、バット、ピンセット、虫メガネ、捕虫網と虫かご)</p>
講師からの持込資材等	<p>顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等、捕虫網、虫かご</p>
講師について	<p>主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。 子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年20回程度開催しています。須坂市内の小学校6年生を対象にはほぼ毎年実施しています。 令和元年度 田川小学校、内田公民館、沢村公民館、本郷公民館、田川公民館 令和2年度 四賀小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等 令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等</p>
開催実績	<p>No.6、27の講座も提供しています。</p>
その他	<p>【団体名】松本ホテル学(まなぶ)会 【担当者名】藤山 静雄 又は 横山裕己 【代表者名】藤山 静雄 【TEL】0263-46-3275 / 携帯 080-3481-3741 横山 090-1736-6771 【FAX】0263-46-3275 【メール】sfujiya@shinshu-u.ac.jp 【HP】https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】〒390-0311 松本市水汲 25-6 【団体名】</p>
講師連絡先	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	<p>前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 公園等】

講座名称	<p>身近な自然観察 (講座 No. 24)</p> <p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。四季折々を楽しみながら、身近な場所の校庭や水辺(小川)、まちなか等で自然観察のガイドを行います。</p> <p>また、外来植物(外来生物)のお話をすることもできます。必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレクチャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくことも可能です。</p>
支援事業内容	
対象	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定 特別支援学級(要相談)</p>
時間数	<p>1講座で2~2.5時間程度</p>
講師人数	<p>子ども15人に対して講師1人が理想的(先生と協力して1クラス程度まで)</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし</p>
学校側で必要な準備	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
講師からの持込資材等	<p>1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。</p>
講師について	<p>平成27年度~令和4年度 今井小学校 学習公園にて、身近な自然観察</p>
開催実績	<p>上高地パークボランティアとしての中学校自然観察ガイド(5件/年)、松本盲学校でのガイドの経験有、市内地区公民館での自然観察ガイド等、環境・地域エネルギー課エコスクール、福祉ひろば自然観察ガイド</p>
その他	<p>【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子 【担当者名】村上さよ子 【TEL】0263-26-1573 / 090-7204-8140 (いつでも連絡可能) 【FAX】0263-26-1573 【メール】〒390-0847 松本市笹部3-11-3 【住所】〒390-0847 松本市笹部3-11-3</p>
講師連絡先	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	<p>前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

<p>講座名称</p>	<p>水辺の観察会 (講座 No. 2.5)</p> <p>○水辺の生物観察の指導を行います。 ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透明度や COD などの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</p>
<p>支援事業内容</p>	 <p>小学校1年生～6年生（学年に合わせた授業を行います。） 1～1.5時間 子ども20人に講師1名</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1回分毎） ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p>
<p>学校側で必要な準備 講師からの持込資材等</p>	<p>水辺観察会の手引書（カラーコピーでも可） バケツ、バット、手網、透視度計、他</p>
<p>講師について</p>	<p>水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>梓川での水辺学習会 田んぼでの生きものの観察会</p>
<p>その他</p>	<p>【団体名】 NP0 法人 えんどっこ 【担当者名】 大月健二 【TEL】 090-4463-5887 【HP】 http://endo.tuko.web.fc2.com</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記電話番号に伝える。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

<p>講座名称</p>	<p>水辺の生物の観察会 (講座 No. 2.6)</p> <p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。 【これまでに実施した学習会のテーマ】 ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がりが ・父親が子育てをするコオロギと昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかわり ・全学年（学年に合わせた授業を行います）</p>
<p>支援事業内容</p>	
<p>対象</p>	<p>子ども10人に講師1人 全学年（学年に合わせた授業を行います）</p>
<p>時間数</p>	<p>3時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p>
<p>費用</p>	<p>・材料費 開催内容による（事前の相談で決定） ・材料費 開催内容による（事前の相談で決定） ・事前講義（安全等）、網、内面が白色のプラスチック皿、ビンセット、虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）、画用紙、色鉛筆</p>
<p>学校側で必要な準備 講師からの持込資材等</p>	<p>網類、バット、ビンセット</p>
<p>講師について</p>	<p>身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考え、今後の川姿に関して提言する団体です。 ・平成27、28、29、30、令和元年度 田川小学校 ①奈良井川脇の湧水に行って水中生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。 ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。 ・平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校 年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 ・令和元年度 安曇小学校、島内小学校 ・令和3年度 安曇小学校、中山小学校 ・令和4年度 安曇小学校、鎌田小学校</p>
<p>開催実績</p>	<p>・平成27、28、29、30、令和元年度 田川小学校 ①奈良井川脇の湧水に行って水中生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。 ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。 ・平成28年度 信州大学教育学部附属松本小学校 年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 ・令和元年度 安曇小学校、島内小学校 ・令和3年度 安曇小学校、中山小学校 ・令和4年度 安曇小学校、鎌田小学校</p>
<p>その他</p>	<p>【団体名】 川の自然と文化研究所 【担当者名】 山本雅道 【TEL】 090-5413-7161 【FAX】 0263-36-2219 【Eメール】 bassyam@shinshu-u.ac.jp</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 山】

講座名称	地元の山が100倍好きになる登山学 (講座 No. 3 1)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！ 今期のテーマは、登山から「有限」を学ぶ。時間も空気も水、食べものも...意識することで明日からの生活が変わる！
対象	小1から中3まで 特別支援学級 (応相談)
時間	半日～一日程度 (内容・山域によって変動有)
講師人数	子ども10人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料 ¥200 / 参加者 (学校保険にて対応可能) ・登山に必要な資機材・昼食・飲み物など ・レスキュー用品・ファーストエイドなど
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。 【令和4年度実施】 安曇小学校 5、6年「梓川、奈良井川、犀川ラフティング」 3、4年「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」 榊川小学校 「川中に学ぶ」リバーアドベンチャー 「奈良井川大河の一滴スライドショー」 梓川小学校 4年「梓川大河の一滴スライドショー」 〃 「梓川上流探検」 筑摩小学校 2年「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」 大野川小学校 3、4年「地元の川大好き！リバーアドベンチャー」 〃 1、2年「乗船散歩」 大野川中学校 1、2、3年「乗船高原スノーシュー大縦断」 田川小学校 5年「奈良井川大河の一滴スライドショー」 〃 「犀川下りラフティング」 波田小学校 3年「上高地源流見学」 〃 3年「牛休川で川遊び」 明善小学校 特別支援学級 「牛休川で川遊び」 ・乗船場に残らず、皆様のお近くに響く身近な山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが増えております。是非ともご不安な場合はプロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！ ・No. 7、28、29、30の講座も提供しています。
講師について	
開催実績	
その他	
講師 連絡先	【団体名】 リトルピークス【代表者名】 小峰邦良 【担当者名】 小峰邦良 【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351 【FAX】 0263-93-1243 【Eメール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】 安曇 4306-7
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外 - 山】

講座名称	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？ (講座 No. 3 2)
支援事業内容	山・森・木について、体験を伴って学べる講座です。 ・様々な特色を持ったヤマト牧場周辺の里山の景色を観察しながら、山、森、木、そして林業について学びます。 ・伐採の見学、除伐体験、馬糞の見学、里山の木材を使った木工体験などの活動を通して、山や森、木についての理解を深めます。 *実施場所や時間、対象年齢によって内容は異なります。 
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間	半日～一日程度
講師人数	子ども10人に講師1人 (小学校低学年や特別支援学級の場合は、子ども6～7人に講師1人)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ・その都度、内容に応じて異なります。 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・その都度、内容に応じて異なります。 その都度、内容に応じて異なります。
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	その都度、内容に応じて異なります。
講師について	その都度、内容に応じて異なります。
開催実績	令和4年度 旭町小学校、安曇小学校、女鳥羽中学校 (校内)
その他	
講師 連絡先	【団体名】 株式会社柳沢林業 【担当者名】 齋藤智比呂 【TEL】 0263-87-5361 (代表者名) 原薫 【FAX】 0263-87-5362 (8時15分以降なら連絡可能) 【Eメール】 saito.e@yanagisawa-ringyo.jp 【HP】 http://yanagisawa-ringyo.jp/ 【住所】 〒390-0313 松本市岡田下岡田774-1
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

<p>講座名称</p>	<p>認知系ワークショップ体験 (講座 No. 3 3)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>地域の地形、歴史、文化の謎を解きながらまちを歩き、探求型ワークショップ体験。1班5~6人+スタッフで探偵団を編成し、地図を見ながらポイントを探してミッションに記された謎を解く。ワークショップ終了後は、学校に戻って各班毎に調査内容をまとめ、報告発表します。</p>
<p>対象</p>	<p>小学校5年生以上中学3年生まで、特別支援学級</p>
<p>時間数</p>	<p>3時間分程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども30人に講師5人程度</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
<p>学校側に必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>マップ、ワークシート、解説用フリップその他備品</p>
<p>講師について</p>	<p>Iターン者と地域住民との交流による新しいいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2018年度から松本観光ホスピタリティカレッジ「ガイドコース」の講師も務めています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>2020年度 梓川小学校</p>
<p>その他</p>	<p>・No.8の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】宗像 章 【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】0263-81-1280 【Eメール】lifeport@nifty.com 【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高相原1132-2</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメール又はFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当Eメール(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

<p>講座名称</p>	<p>手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ (講座 No. 3 4)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>お米について学べる講座です。年間を通じてお米の肌ヌカ(米の糠)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月~9月が活動時期です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験等の講座を実施することも可能です。</p>
<p>対象</p>	<p>小学1年生から中学3年生の児童・生徒(特別支援学級含む)</p>
<p>時間数</p>	<p>90~110分程度(2時間程度)年間3回程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども15人程度に講師1名目安</p>
<p>費用</p>	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当2,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代、実習資材使用代等(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代、実習資材使用代等(応相談)</p>
<p>学校側に必要な準備</p>	<p>児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>田植え、稲刈りに必要な資材</p>
<p>講師について</p>	<p>いきものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがあり、多様なプログラム提供が可能です。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成25年度~令和4年度 主催事業で実施</p>
<p>その他</p>	<p>・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.36、37の講座も提供しています。</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>【団体名】いきものみっけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457 (9時~19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
<p>申込み方法</p>	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	石窯でピザづくりたいけん (講座 No. 35)
支援事業内容	<p>間伐材を燃やして石窯を加熱しながら環境問題を考え、蓄熱された石窯でピザ生地にとッピング調理しながら再生エネルギーの力、蓄熱エネルギーの原理等を学べる講座です。</p> 
対象	小学1年生から中学3年生・「特別支援学級」
時間数	最長90分程度(参加人員による)
講師人数	講師最低3人必要(教諭も含めた参加者定員は25人程度)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・薪(広葉樹のもの) 約500円/1回 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 <p>ピザ材料100円/1人(ピザ焼き枚数は参加人員に応じて5枚から8枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座実施場所(松本市横田)への往復付き添い ・参加者の食物アレルギーの有無の事前確認 ・必要に応じた献物
学校側で必要な準備	特になし
講師からの持込資料等	なし
講師について	平成28年にNPOを設立し、地元の間伐材を利用して再生エネルギーの活用と環境問題への啓発を図り、石窯体験活動を通じて子供の健全育成へ寄与する団体です。会員数11名です。
開催実績	令和2年度 岡田小学校あさひ分校 女鳥羽中学校あさひ分校 令和3年度 明善小学校(出張体験会)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施の1カ月前には申し込みの連絡をしてください。 ・通年実施可能ですが12月下旬から2月中旬は寒さで未実施。 ・実施場所は松本市横田ですので参加者の移動が必要。 ・雨天・強風では実施不可能なので直前での実施日変更の可能性有 ・No.10の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】NP0法人石窯スマイル研究会 【担当者名】相原 真幸 【TEL】0263-36-8835 【FAX】0263-36-8835 【Eメール】ishigama.s.kenkyu@road.ocn.ne.jp 【HP】http://smilestone-labo.com 【住所】〒390-0804 松本市横田 4-1-1 (講座実施場所)</p>
申込み方法	①申込書を上記EメールまたはFAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当EメールまたはFAX番号にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校内(両方)で可】

講座名称	いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 36)
支援事業内容	<p>身近にある自然と環境について学べる講座です。 生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に出向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> 
対象	小1から中3までの児童・生徒(特別支援学級含む)
時間数	90～110分程度(2時限程度)
講師人数	子ども20人に講師1名が目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)+交通費相当1,000円程度 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金(応相談)
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資料等	自然体験・環境教育学習に必要な資料
講師について	いきものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成27年度～30年度 菅野小 令和元年度 安曇小
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせ開催1か月前目安にはしたいです。 ・No.34、37の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみっけファーム in 松本推進協議会 【代表者名】会長 降旗一路 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【TEL】090-2219-2457(9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

【分類：校外両方で可】

講座名称	（講座 No. 37） プランター菜園講座
支援事業内容	年間を通じてお米の肌スカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きもの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。 作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。 学校や近隣に出向き、農業体験の講座を実施することが可能です。
対象	小学1年生から中学3年生まで児童・生徒（特別支援学級含む）
時間数	90～110分程度（2時間程度）
講師人数	子ども30人に対し1人以上の講師
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎）+交通費相当1,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・プランター、苗代、肥料代等（応相談） ③児童個人に必要なもの → 【学生費等】 ・応相談
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～令和4年度 主催事業で実施 主にグリーンシーズンズ(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしています。
その他	・No.34、36の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457（9時～19時 連絡可能） 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17
申込み方法	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。


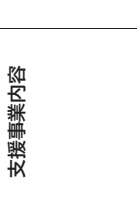
【分類：校外両方で可】

講座名称	体験！体感！外あそび！！ （講座 No. 38）
支援事業内容	1 火起こし教室～舞切り式、人と火の繋がり 2 燻製教室、保存食の知恵 3 焚火ラジエーター、同じ物見つけ、フィールドビンゴ、他ネイチャーゲーム、ラジエーター 4 木育体験…森のかげらのお守り作り（ペンダント、ストラップ） 5 ツリハーハウス／秘密基地作り 6 その他松枯れ、湧水等地域探検、自然観察    
対象	小学生 全学年：プログラムにより個別にご相談
時間数	2時間分（80～90分）～3時間分（120分）
講師人数	※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談 子ども30人に対して3～4人の講師
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費等は別途（事前相談のうえ決定します。） ③児童個人に必要なもの → 【学生費等】 ・材料費等は別途（事前相談のうえ決定します。）
学校側で必要な準備	基本的には学校で準備頂くものは有りません。
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、ツリハーハウス機材、ネイチャーゲームなど体験に必要な機材一式
講師について	四賀地区中川の、廃校小学校（旧中川小学校）活用について、平成25年松本市が募集したアトピー・アレルギー事業へ応募を行い採択されました。平成26年4月より活動試行、①野外体験②ツリハーハウスゲームが等、平成27年から運営を行っています。 また、県内の野外体験活動団体等の初年度、信州外あそびネットワークに加盟しています。
開催実績	平成30年度 芝沢小：人と火の繋がり～燻製試食体験、ネイチャーゲーム 令和元年度 中山小学校：秘密基地/ツリハーハウス作り 令和2年度 梓川小学校：人と火の繋がり/ネイチャーゲーム 令和4年度 楠川小学校：人と火の繋がり/燻製試食 令和4年度 梓川小学校：人と火の繋がり/ネイチャーゲーム
その他	ツリハーハウスキャンプ、冒険くらぶ支援、地域体験活動企画運営 【団体名】信州やがいけん楽校ぶらす 【担当者名】降幡光幸 【代表者名】降幡光幸 【TEL】090-3042-0744（随時連絡可能） 【FAX】0263-87-2038 【Eメール】m.furig.tlc2011@way.ocn.ne.jp 【HP】http://yt-plus.com/ 【ブログ】http://yt-plus.blogspot.jp/ 【住所】〒390-0315 松本市岡田町 630-6
講師連絡先	①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。
申込み方法	

【分類：校内外両方で可】

講座名称	体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No. 39)
支援事業内容	<p>自然と環境について学べる講座です。プロジェクトWILDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や環境について学びと気づきを得ていただきます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。</p>   
対象	小1から中3までの児童・生徒、特別支援学級も対応可能
時間数	90～100分程度
講師人数	子ども20人に講師1名目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材(必要な場合)の代金(応相談)</p>
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで8年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和2年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 安曇小学校 令和元年度～4年度 波田小学校特別支援学級</p>
その他	<p>・No.40の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田4507-3</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No. 40)
支援事業内容	<p>自然体験と農業について学べる講座です。身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらおうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。</p>  
対象	小1から中3までの児童・生徒(特別支援学級対応可能)
時間数	90～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・調理実習器材1,000円程度(事前相談のうえ決定します。) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・食料費1人約300円(事前相談のうえ決定します。)</p>
学校側に必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	<p>自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで8年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。</p>
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 菅野小学校 ・No.39の講座も提供しています。</p>
その他	<p>【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田4507-3</p>
講師連絡先	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>
申込み方法	<p>①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	自然体感プログラム (講座 No. 4 1)
支援事業内容	<p>学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発見や気付きを大切に、「自然を見る目」を育てることができきる講座です。</p> 
対象	<p>学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級 45～90分程度</p>
時間数	<p>(希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。) 子ども20人に講師1人</p>
講師人数	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費2日分(下見・当日) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復×2日分(下見・当日)</p>
費用	<p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側に必要な準備	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談(基本的には特にありません。)</p>
講師からの持込資料等	<p>プログラムに使用する備品</p>
講師について	<p>塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。</p>
開催実績	<p>平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャー)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～4年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」</p>
その他	<p>・No.14、42の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【Eメール】waon@powaon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市丘丘郷 685</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	外あそびの達人講座 (講座 No. 4 2)
支援事業内容	<p>【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を実践から学ぶことが出来ます。木があれば、ハンモックや基地づくりができます。</p> <p>【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことが出来ます。たき火は、たき火台を使っています。</p> 
対象	<p>小学校1年生、中学校3年生、特別支援学級</p>
時間数	<p>45分～90分程度</p>
講師人数	<p>子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ・交通費(自家用車) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復</p>
学校側に必要な準備	<p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食料費(たき火で焼いて食べたい物があれば) たき火が実施可能な場所の確保(たき火の場合)</p>
講師からの持込資料等	<p>ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具</p>
講師について	<p>塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。</p>
開催実績	<p>平成28年度 田川小学校 「学校の近くの田川でネイチャージャーなどの自然体験活動」 朝日村主催「あさひ環境のつどい」の講師など 平成29年度 島内小、教育課程「自然体験(ネイチャージャー)」 平成30年度 並柳小学校「自然体感プログラム、工作」 令和元～4年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」</p>
その他	<p>・希望があれば、校外でも実施できます。 ・ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできますし、時間によっては両方実施することもできます。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人わおん 【代表者名】山田 勇 【担当者名】山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-87-4024 【Eメール】waon@powaon.com 【HP】http://waon.naganoblog.jp 【住所】〒399-0704 塩尻市丘丘郷 685</p>
申込み方法	<p>①申込書を上記FAX番号に送付する。②同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前打合せをする。④当日を迎える。</p>

【分類：校外両方で可】

講座名称	キャンプ・野外生活 基礎 (講座 No. 4 3)
支援事業内容	何を失った人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、野外において確保する考え方を学ぶ。その中で一番大切な体温保持するシェルター（雨風を防ぐもの）作りを体験する講座です。 
対象 時間	小4から中3まで、特別支援学級 2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人（2人以上いければ尚良い）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ（5人以下）で、タープ(1)、ロープ(4)、ペグ(4)、ハンマー(1)、ポール(2)が必要。レンタル代1,000円/セット ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	屋内で座学とロープワークを学び、屋外でシェルターを作ります。 体温保持に関する資料(1人1枚)の印刷 タープ、ロープ、ペグ、ハンマー、ポールを必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小学童
その他	・No. 20、21、22の講座も提供しています。
講師連絡先 申込み方法	【団体名】すえなみブジックラフトスクール長野 【講師名】代表：末次克洋（すえなみかつひろ） 【連絡先】中信地区環境教育ネットワーク（eeネット）事務局 中林 直子 【TEL】0263-86-8739 携帯：090-2737-1856 【FAX】0263-86-8739 【Eメール】ecocomet@gominetnagano.jp ①申込書の内容を上記Eメールに送付する。②同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）にも送付する。③学校から講師へ連絡し、事前に打合せをする。④当日を迎える。

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



信州の環境学習

【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育（小学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、市内全小学校3年生対象に食品ロスをテーマとした出前講座を行っています。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があればぜひご相談ください。

パワーポイント等を用いた学習のほか、歌・すごろく・DVD教材など、さまざまコンテンツをご用意しています。



◇食品ロスすごろくのご紹介◇

食べものが収穫されるまで・購入されるまで・料理するまで・食べるまでに、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。必要部数を印刷してお渡しすることもできます。
※対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

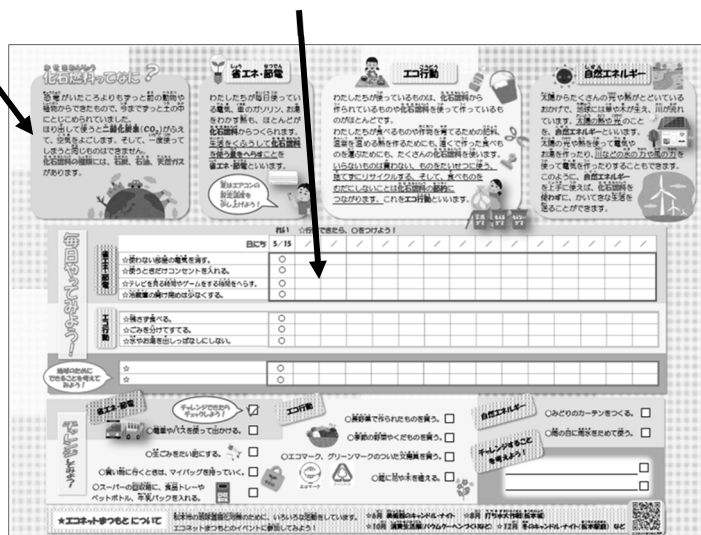
省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

☆実施希望の場合は、環境・地域エネルギー課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費
登録料無料



3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します（家族でも可）。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳等をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができますので、興味がありましたら以下の URL からホームページにアクセスしてみてください。

【こどもエコクラブ URL】 <http://www.j-ecoclub.jp>

令和5年度
松本市小中学校
環境教育支援事業報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp
編集 松本市環境エネルギー部
環境・地域エネルギー課
協力 中信地区環境教育ネットワーク
印刷 庁内印刷

